

## 令和2年度 第2回市政モニターアンケート

●市政モニターの総数 100人（男性38人、女性62人）

回答者数94人（男性38人、女性56人、回答率94%）

●実施期間 令和2年11月20日～12月4日

※各回答は、小数点以下第2位で四捨五入してあるため、合計が100%にならない場合があります。

### 1 「市の組織体制」について

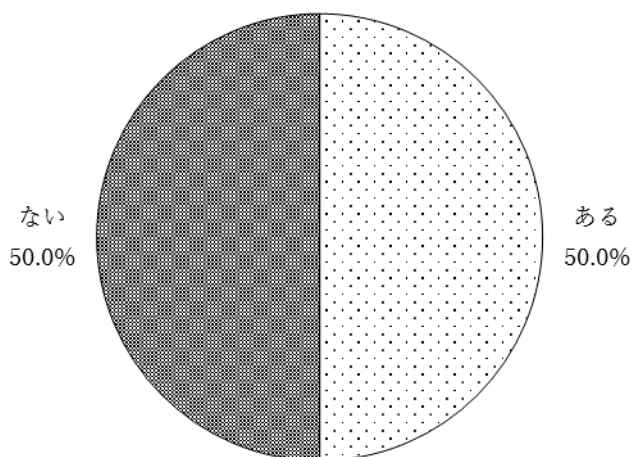
#### ■調査の目的

市では、「生涯青春都市 富士市」の実現に向けて、市民の皆様のニーズや新たな行政課題に的確に対応し、将来を見据えた未来志向の組織体制及び市民の皆様の視点に立った分かりやすい組織とするため、継続的に組織改正を行っています。今後の市の組織改正の参考とするために伺います。

問1 あなたは、市の組織の名称（〇〇部、〇〇課、〇〇室など）が分かりにくいと感じたことはありますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数94人

- |   |    |     |       |
|---|----|-----|-------|
| 1 | ある | 47人 | 50.0% |
| 2 | ない | 47人 | 50.0% |

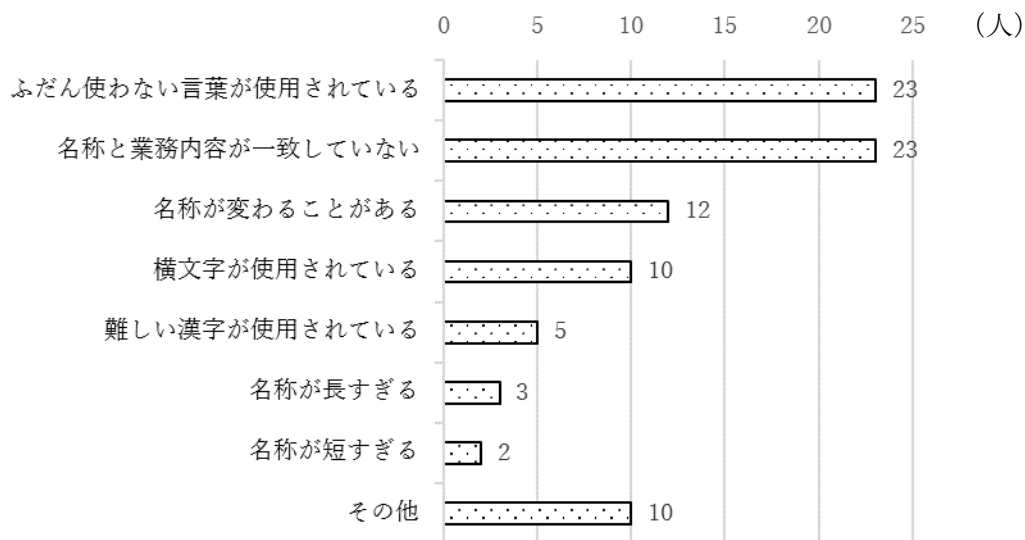


問1で「1 ある」と答えた人に伺います。

問1-1 市の組織の名称が分かりにくい理由はどのようなことでしょうか。次の中から当てはまるものを3つまで選んでください。

回答者数 47 人

1	ふだん使わない言葉が使用されている	23 人	48.9%
2	難しい漢字が使用されている	5 人	10.6%
3	横文字が使用されている	10 人	21.3%
4	名称と業務内容が一致していない	23 人	48.9%
5	名称が短すぎる	2 人	4.3%
6	名称が長すぎる	3 人	6.4%
7	名称が変わることがある	12 人	25.5%
8	その他	10 人	21.3%



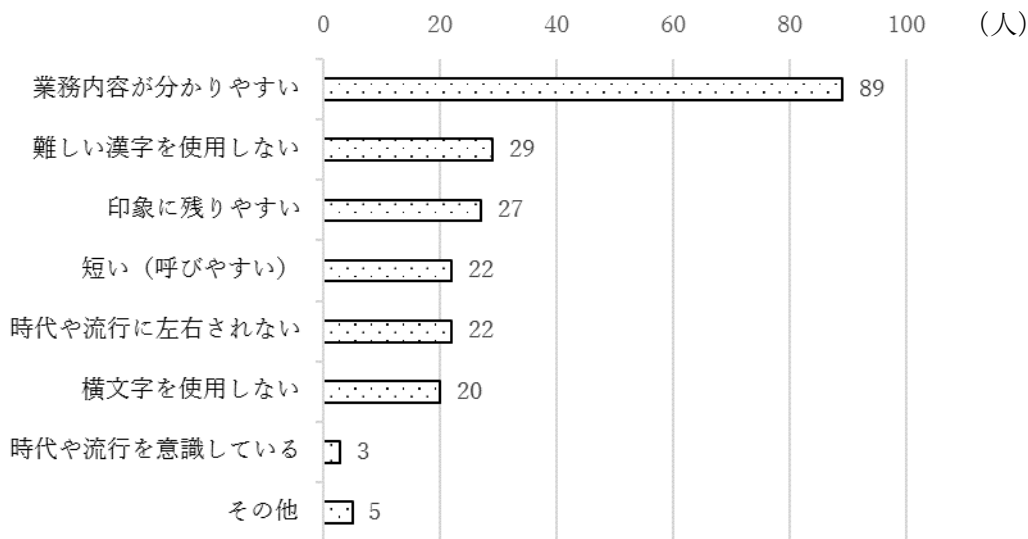
●その他の意見

- ・似た名前の部署で、何をどこで取り扱っているか迷うことがある
- ・100人が100人分からない。大人でないと分からない言葉が使われている
- ・細かい課が分かりにくい
- ・民間でも同じようなことは言えるが、似たような名称があり、違いが分からない
- ・名称を見ても内容が分からない
- ・類似する名称で業務範囲が分からない
- ・課、室のレベルと業務内容が分かりにくい
- ・難しい漢字などではなく、部署名と内容が理解しにくい。例えば収納課と市民税課、資産税課の内容やみどりの課と市街地整備課の内容は重複していると思う。
- ・障害年金に関わることで市役所に伺った際、取り扱いが「年金」がつく国保年金課ではなく、分かりづらく感じた。どんな仕事をしているのか分かりにくい
- ・どんな仕事をしているのか分かりにくい
- ・分かりづらい

問2 市の組織に名称を付ける際に重要と考えることはありますか。次の中から当てはまるものを3つまで選んでください。

回答者数 94 人

1	業務内容が分かりやすい	89 人	94.7%
2	難しい漢字を使用しない	29 人	30.9%
3	横文字を使用しない	20 人	21.3%
4	短い（呼びやすい）	22 人	23.4%
5	印象に残りやすい	27 人	28.7%
6	時代や流行を意識している	3 人	3.2%
7	時代や流行に左右されない	22 人	23.4%
8	その他	5 人	5.3%



●その他の意見

- ・市民が相談を持ちかけるときに、相談先であることがイメージしやすい
- ・会社組織と同様で単純明快であればよい。名称は市民が考える事項ではない
- ・大枠では流行に流されず、その下の区分けで、親しみやすい名前だとよい
- ・子どもに分かるようなレベルだとよい

問3 市の組織の名称で業務内容が分かりにくいと感じる名称がありますか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

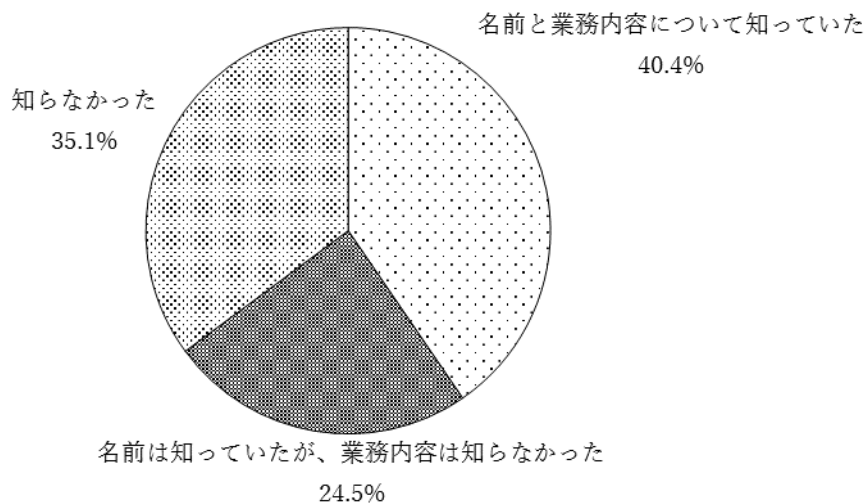
市民協働課	19人	水道維持課	2人
シティプロモーション課	18人	施設保全課	2人
こども未来課	12人	地域医療連携センター	2人
市長戦略課	10人	警防課	2人
学務課	10人	社会教育課	2人
契約検査課	9人	監査委員事務局	2人
収納課	9人	総務部	1人
商業労政課	8人	総務課	1人
こども家庭課	7人	人事課	1人
港湾振興室	7人	防災危機管理課	1人
特別債権回収室	7人	財政部	1人
環境総務課	5人	財政課	1人
みどりの課	5人	市民税課	1人
情報政策課	4人	資産税課	1人
まちづくり課	4人	市民安全課	1人
上下水道経営課	4人	文化振興課	1人
教育総務課	4人	スポーツ振興課	1人
行政経営課	3人	障害福祉課	1人
資産経営課	3人	保育幼稚園課	1人
多文化・男女共同参画課	3人	健康政策課	1人
食育推進室	3人	地域保健課	1人
生活排水対策課	3人	高齢者支援課	1人
予防課	3人	国保年金課	1人
企画課	2人	新環境クリーンセンター建設課	1人
移住定住推進室	2人	林政課	1人
人材育成室	2人	住宅政策課	1人
市民部	2人	新富士駅南整備課	1人
市民課	2人	インター周辺区画整理課	1人
福祉こども部	2人	下水道建設課	1人
保健医療課	2人	下水道施設維持課	1人
環境保全課	2人	道路維持課	1人
産業政策課	2人	道路整備課	1人
富士山・観光課	2人	医療安全対策室	1人
建築指導課	2人	情報指令課	1人
上下水道営業課	2人	学校教育課	1人
水道工務課	2人	会計室	1人

- ・国保年金課の国民健康保険と国民年金は分けたほうが分かりやすい
- ・市長戦略とは、何かと戦うのか。名前を見て何を行っているのか分からない
- ・名前というより、まちづくり課と市民協働課の業務分担が素人には分からない
- ・こども未来課とこども家庭課、教育総務課と学務課などの違いが分からない
- ・市民部は基本的に分かりにくい
- ・特にないが上下水道部はもっとよい水を供給してほしい
- ・道路整備課と道路維持課の違いが分かりづらい

問4 市政モニターになる前に、市役所の広報広聴業務（広報ふじ、市長への手紙など）を担う「シティプロモーション課」があるのを知っていましたか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 94 人

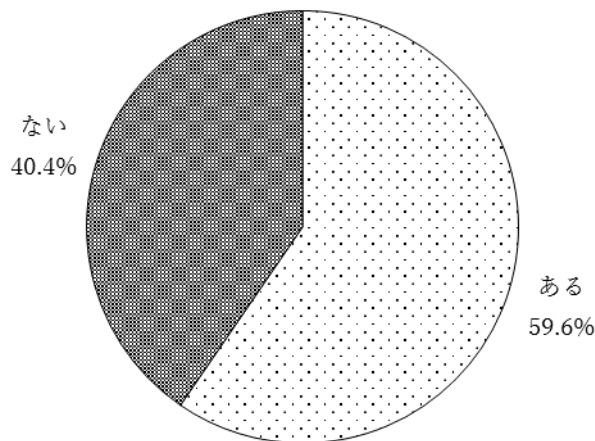
- |   |                       |      |       |
|---|-----------------------|------|-------|
| 1 | 名前と業務内容について知っていた      | 38 人 | 40.4% |
| 2 | 名前は知っていたが、業務内容は知らなかった | 23 人 | 24.5% |
| 3 | 知らなかった                | 33 人 | 35.1% |



問5 市役所に問い合わせする際に、担当する部署が分からなくて困った経験はありますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 94 人

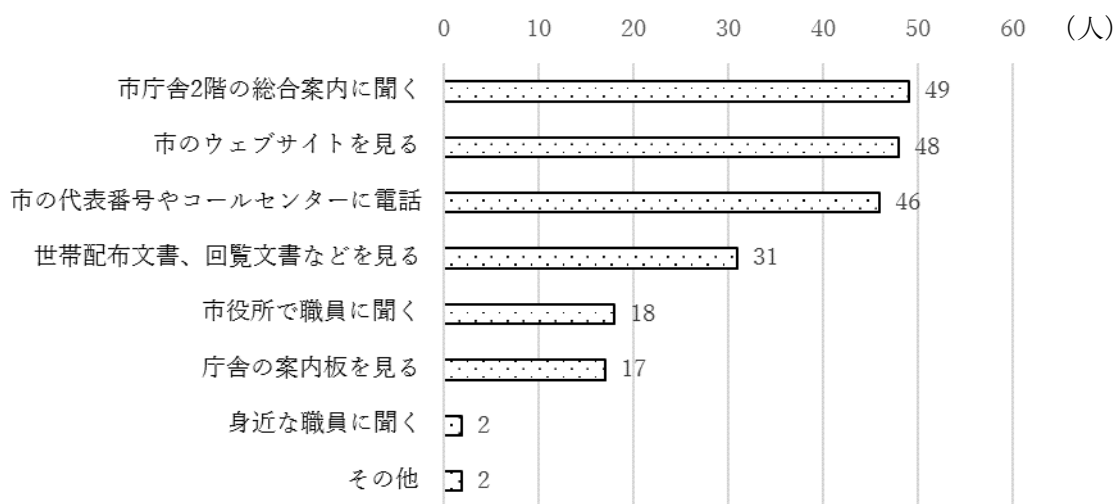
- |   |    |      |       |
|---|----|------|-------|
| 1 | ある | 56 人 | 59.6% |
| 2 | ない | 38 人 | 40.4% |



問6 担当する部署をどのような方法で確認しますか。次の中から3つまで選んでください。

回答者数 94 人

1	市の代表番号やコールセンターに電話する	46 人	48.9%
2	パソコンやスマートフォンなどで市のウェブサイトを見る	48 人	51.1%
3	家に届いた通知や、市からの世帯配布文書、回覧文書などを見る	31 人	33.0%
4	庁舎に設置してある案内板を見る	17 人	18.1%
5	市庁舎2階の総合案内に聞く	49 人	52.1%
6	市役所に行ったときに近く of 職員に聞く	18 人	19.1%
7	近所や知り合いなど身近な職員に聞く	2 人	2.1%
8	その他	2 人	2.1%



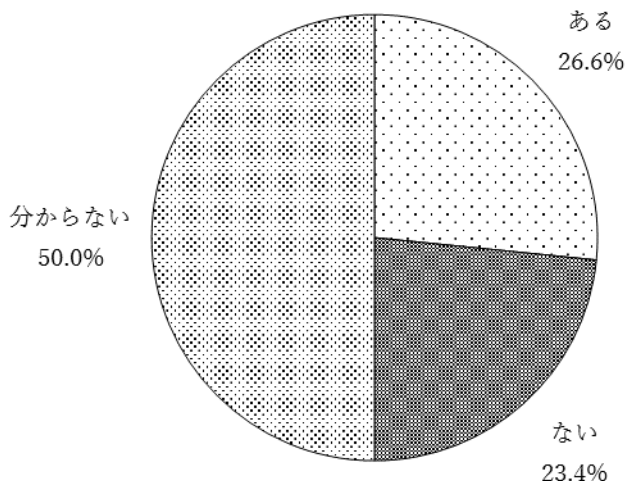
●その他の意見

- ・ここではないかという窓口に突撃して聞くことが多い
- ・私の便利帳

問7 市役所にあつたらよいと思う課（所属）はありますか（新たな組織として必要だと思うものや重点的に取り組むための組織など）。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 94 人

1	ある	25 人	26.6%
2	ない	22 人	23.4%
3	分からない	47 人	50.0%



問7で「1 ある」と答えた人に伺います。

問7-1 あったらよいと思う課（所属）の名称と業務内容を記入してください。

- ・お年寄りに優しい、申請を分かりやすく教えてくれる所。また、お年寄りが申請をしよう！と思える所
- ・たまたまテレビで見たが、ひきこもりの相談先はあるのか
- ・出先ではなく、まず市役所の中に相談できるところがあればありがたい人はい多いと思う
- ・一つの課題に対して複数の課に関連するような場合の調整をする部署。何でも相談課
- ・企業支援課。市内の既存企業をPRする、ベンチャー育成するなど
- ・職業支援課。市内の就業率を上げる、職業訓練を提供する
- ・自然交流課。市内の自然を活用したふれあいを企画・促進する
- ・市政相談課。市民の苦情や改善提案を受け付けて対処する
- ・市政改善課。市民の苦情や改善提案を受け付けて対処する
- ・現在まちづくり協議会の活動が重要になっている。各推進会は、この組織の中に入って総合的に活動を進めている。しかし、現状の各推進会は、各担当課の傘下で活動しなければならない。これでは活動が分散的になってしまうことになる。まちづくり課を部に昇格させて、関係課を傘下に入れて総合的に活動できるようにしてほしい
- ・市道の点検、危険箇所を定期的に見回りする部署。傷んでからや地元からの通報を待つのではなく定期パトロールが必要
- ・市内で何か問題があったとき、ワンストップで複数の課に声をかけてくれるコンシェルジュのような課があるとよいと思う
- ・市民が困りごとや要望を持ち、複数の課にまたがるとき、その調整を手伝ってくれる課
- ・少子化対策課があればいいと思ったことがある。長年不妊治療をしてきたが、子どもを産まないと手厚いケアが受けられず辛い思いをたくさんした。若者の雇用や子宝に恵まれない夫婦をサポートする課が欲しい
- ・生活保護課。生活保護の実態調査と、本当に困っている人への受給。さらに不正受給は徹底的に取り締まる
- ・総務部になんでも課、すぐやります課

- ・保健部に健康相談課
- ・生涯学習部をつくり、この下に各教育関係課か生涯学習課を新設
- ・年金や、税金窓口。税務署ではなく、市役所でも大まかな手続きができると便利
- ・年金事務所。陸運局。公務員が行っていることは全て市役所に集めてほしい
- ・少子化対策課、中期居住推進課（都心居住者に対する一時的な移住体験やワーケーションの推進）
- ・障害者の雇用に関する相談窓口（ハローワークと重複するかもしれないが）
- ・最近よく聞く、身近な人が亡くなったときに1つの窓口で1度に書類をもらって話を聞ける課が富士市にもできればいいというときにありがたいと思う
- ・仮称「業務案内センター」「市民相談課」など。市民が何かで困った場合の第一次相談センター的役割を担ってもらおう。そこで解決（対応）できない場合は適切な部署を紹介する。「総合案内」では無理
- ・教育委員会に新たに、仮称「いじめ、不登校、ひきこもり課」を設けたらどうか。時代にあった対応で、現在、教育プラザにある「ココ☆カラ」との連携を密にしてほしい
- ・あったにはあったが思い出せない
- ・中高年資格取得、教育支援、交通騒音対策
- ・市民課を市民の全ての窓口として気軽に質疑ができる部署とする。市長への手紙を出すとシティプロモーション課からはすぐに受付した旨の連絡があるが、そのあとが断ち切れるケースが多々ある。市民課がフォローし、提言者に回答するようにしてほしい
- ・人が亡くなった時の手続としておくやみ課というワンストップで手続きできる場所を設けたのはとてもよいことだと思った。転入転出においてもワンストップができればありがたいと思う
- ・困りごと問合せ窓口。対応を振り分けてつなげてほしい
- ・用事のあるとき、市役所に出向くとき、どんな用件でも聞いて対応してくれる課。その案内で該当するところへ行くようにしたい
- ・すぐやる課 困っていることを部署など関係なく対応する。すぐに対応できることはすばやくワンストップで対応する



問8 市役所の各課の配置について改善してほしいことや要望がありましたら、自由に記入してください。

- 高齢者にももっと分かりやすいように改善してほしい (30代女性)
- 課のプレートの下に、ざっくり書類関係の内訳を記載してほしい (30代女性)
- 日常の困りごと、例えば、公園の遊具が壊れた、街灯の電気が切れているなど、ささいな相談をどこにしたらいいかかわからない (30代女性)
- 幼稚園の相談をする際に、キッズスペースが遠くて利用できず、とても不便だった。近くに配置してほしい (30代女性)
- 利用するものについては、市役所からのお知らせなどで事前に調べてから行くため、名称などは基本的に分かりやすいと思っているが、名称にないものだと戸惑う気がする。また、配置とは関係ないが、市役所の各課のフロアに向かう際、声をかけづらいことが多い。2階は案内の人がいて呼ばれるのでスムーズだが、その他の階は忙しそうにしているところに声をかけるのにハードルが高い (30代女性)
- 高齢者と子どもの窓口が4階にあるが、階段や、スペースが限られるエレベーターで上がるのは大変。ベビーカーや車椅子の用具を使わないと上がれない (30代女性)
- 今のままでよい (30代女性)
- 道路の計画の課と、補修の課の場所が全然違うが、市民からしたら一緒だと思う (30代男性)
- 内容が関連する課は近くに配置してほしい (40代女性)
- 時々、用があり各階に行くが、オープンになっている割に入りにくく、声をかけにくい雰囲気がある (40代女性)
- 全ての総合窓口があれば助かると思う (40代女性)
- 子ども関連の課を一つの階にとか、イベント関連の課を一つの階になど、いろいろ考えるが、今の並びにも意味があると思うので、なぜその課がそこにあるのかがわかるようにそれぞれの階に名前を付けるなど、表示してくれるとわかりやすいし、思い出しやすいと思う (40代女性)
- 似たような名称の漢字の課が多いので、探すときに頭が混乱する。もっと、ひらがなやカタカナを利用したほうが分かりやすくしてよい気がする (40代女性)
- 同じ道路でも「道路維持課」と「道路整備課」があり、どこに聞いたらよいのか分からないので、「道路のことはここ」と分かりやすくなるとよい (40代男性)
- ウェブサイトに、おもちゃ病院の案内を掲載してほしい。富士市、富士宮市で活動をしているが、富士宮市では掲載されている (50代女性)
- 「私の便利帳」を活用している。時々変更になるかもしれないが、何階の北か南かまで書いてくれてると高齢者にも親切 (50代女性)
- 雑然として分かりにくい。上の階は特に行きにくい (50代女性)
- 代表電話でつないでもらうが、あちこち電話を回されると気分が悪い (50代女性)
- 設問の内容とは違うが、市役所から電話の着信があり、折り返したときに、どこの課からの電話か分からなくて困ったことがある。着信だけだと代表番号になっていて、留守電の内容を確認して分かった (50代女性)
- 若い職員が仕事に対して真剣でないし、口が軽い感じがする。コロナの関係でも外部に軽く話している感じ。もう少し慎重に、自分の仕事と置かれている立場をしっかりと認識してほしい

い。身内にとっても甘いと思う。だからいつまでたっても市役所内や管轄の職場がよくなる。市民の税金から給料が出ていることをしっかり再確認して働いてほしい。給料泥棒みたいな職員は会社同様に厳しくすべき。特に学校用務員はしっかりと働いてほしい。どうして保護者が奉仕作業を頑張らないと学校の環境が保たれないのか不思議。また、パワハラをしている職員の処罰はしっかりとしてほしい。パワハラを受けて心の病になってしまい、辞めざるをえない状況に追い込まれたという話をよく聞く（50代女性）

- 例えば、建設部の中で市庁舎と消防防災庁舎に分かれている道路整備課、道路維持課など同じ部内では庁舎を同じにしてほしい（50代男性）
- 車の騒音について相談したら、たらい回しにされた（50代男性）
- 障害者手帳の交付を受けている。1つのフロアで諸手続きが完結できるような配置であるとありがたい（50代男性）
- 親の遺言書作成のためいくつか書類が必要となり市役所に行ったところ、丁寧に時間が無駄にならないように、何階のどちら側のどのあたりに行くかを教えてもらった。私にとって改善の要点は見当たらない（60代女性）
- 現状のままでよい（60代女性）
- 各課、各室の枝分かれを細かく表示してほしい。そうすることで無駄足が減る（60代女性）
- 各課の配置は市民が考える事項ではない。市長や総務部長が考えてほしい。狭い建物だが、可能であれば関連する部署が同じフロアにあればよいのではないか（60代男性）
- 1階エレベーター前の組織表は分かりにくい。改善を検討してほしい（70代女性）
- 昔と違い最近の職員の対応は親切。うろうろしていると「何かお探しですか」と声掛けしてくれる。何も不便なく、要望もない（70代女性）
- 樹木関係が河川課とみどりの課に分かれていて分かりにくいいため、どちらかにまとめるか、分かりやすい案内が必要（70代男性）
- 上の階へ行くほどカウンターや机の上に積まれた書類などが見苦しい感じがする。適時利用される関係書類だと思うが、民間企業では考えられない。ISOを取った企業の事務所の見学をすすめる（70代男性）
- 現在、文化振興課とスポーツ振興課は市民部にあるが、移行する時に私は、当時の教育委員会のままだが分かりやすく、市民に親しまれていると反対した。その後、A4一枚の説明で決まってしまった経緯があるが、その後のメリット、デメリットの検証がどうなっているか、広報ふじなどで知らせてほしい（70代男性）
- 組織の内容と業務内容を分かりやすくすること以外に、部署別要員数、配置数についても聞く方がよい（70代男性）
- よく教育されている。親切丁寧な対応が好感。各課、整理整頓されて職場がきれい（70代男性）
- 配置については特に不便は感じていない（80代男性）
- シティプロモーション課を2階へ移し、広報広聴課の呼び名に戻してほしい（80代男性）

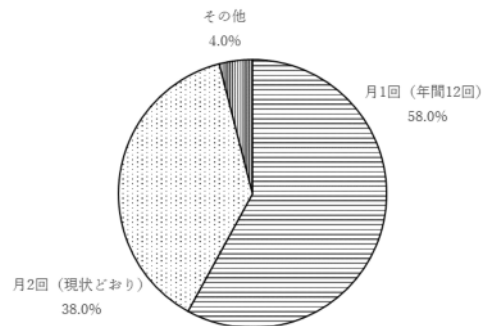
## 2 「市からのお知らせ文書」について

### ■調査の目的

昨年11月、「広報ふじ」について皆さんのご意見を伺いましたが、今回は「広報ふじ」を含めた市からのお知らせ文書等についてお伺いします。

昨年アンケートで「広報ふじ」の発行回数についてお伺いしたところ、回答結果は以下のようになりました。発行回数それぞれにメリット・デメリットがありますが、そのことについて改めて皆さんのご意見をお伺いします。

- ・月1回（年間12回） 58人 58.0%
  - ・月2回（年間23回） 38人 38.0%
  - ・その他 4人 4.0%
- （インターネットで閲覧できるから配布をやめてほしい。現状でよいが、委託された人が負担なら検討すべき など）  
〔回答者数 100人〕



発行回数	メリット	デメリット
月1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回数減により地区委員及び町内会（区）の負担が減る</li> <li>・今より広報紙制作及び市発行文書の配布に関する諸経費を抑えられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントなどは1か月以上先に行われる内容の掲載になる</li> <li>・月1回発行にするにはページ数の削減が伴う。紙面から削除する詳細な情報は、QRコードを活用し、インターネットへ置換することを想定しているため、インターネット等を利用しない人にこれまでお知らせしていた内容をどのように届けるかが課題となる</li> </ul>
月2回（現行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回よりもタイムリーにお知らせを掲載できる</li> <li>・チラシ等もタイミングよく回覧・世帯配布ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回数による地区委員及び町内会（区）への負担がかかる</li> <li>・月1回発行より経費がかかる</li> </ul>

問9 「広報ふじ」の発行を月1回に変更することについてのご意見を自由に記入してください。

【変更してもよい】

- 紙の削減でいいと思う (30代女性)
- 町内の役員の負担が軽くなるので月1回にしてほしい (30代女性)
- 1回で十分。配布が負担なら、市役所やまちづくりセンターにもらいに行けばいい (30代女性)
- 配布するのが大変だと思うと月1回はいい (30代女性)
- 配布する人の負担が減るのはいい。月1の配布でページ数を多くしたほうがいい (30代女性)
- コスト削減でいい。その分、フェイスブックなどオンラインでの情報発信に力を入れるといいと思う (30代女性)
- 月1回でいいとずっと思っていた。今はインターネットを見る高齢者も多いし、古紙も減る (30代女性)
- 月1回の発行であっても困らないと思うが、発行側が大変になることはないのか気になる。発行側にとってもメリットが多いのであれば1回にしてもいいと思う (30代女性)
- ペーパーレスの時代なのでありかなと思う (30代女性)
- 経費削減などにつながるなら賛成 (30代女性)
- 私の周りにはあまりじっくり読んでいない人が多い気がする。それを考えると月2回はその分コストがかかるので減らした方がいい (30代女性)
- 月1回は多くも少なくもなくちょうどいい。イベントなども確認しやすい。紙の節約になる (30代女性)
- 月1回のペースがとてもいい (30代女性)
- 月1回の発行でも十分情報を発信していけると思う (30代女性)
- 内容が1回にまとまってもいいと思う (30代女性)
- 何度も回覧板を回さなくて済むのは楽でありがたい。一度にたくさんの情報が分かるのでうれしい。現状、後で読もうと思って取っておくとどれだか分からなくなりやすい。ページ数を削減するなら内容を精査すればよい。程度にもよるが、目次のようなものだけを配布し、欲しい人は詳しいものをまちセンなどに取りに行く運用でもよいのではないか (30代女性)
- 月1回でいいと思う (30代男性)
- 月1回発行の市町が多いと思うので、月1回で運用できる内容に改善していくべき。イベントの案内が1か月以上前に行われることは、前もって計画できるので、むしろメリットだと感じる (30代男性)
- メリット、デメリットは納得するが、2世帯家族で1部しか届かないため、母家から子どもに必要な幼稚園や小学校に関する情報が載っていたらもらうという形式で、この1年手にすることがなく、必要性を感じられずにいる。知りたいときはホームページで検索するようにしているので、月1回の紙面でウェブサイトの情報更新をまめにしてほしい。月1回の紙面にどの情報を載せるか大変になるとは思う (40代女性)
- 月2回のほうが情報の漏れがなさそうで安心感があるが、作る側は大変だと思うので仕方ない (40代女性)
- いいと思う (40代女性)
- 月1回くらいがいいと思う (40代女性)

- 必要な情報が遅れて届いて困るということがなければ、月1で十分だと思う (40代女性)
- 月1回で十分だと思う (40代女性)
- 月1回で問題ない (40代女性)
- 月1回でもいい。ウェブで見られる市民はいいが、高齢者が見なくなると感じる (40代女性)
- いいと思う。使用しなくなったお金をもっと何か良いことに使用してほしい (40代女性)
- 月1がちょうどいいと思う (40代男性)
- 緊急連絡等の連絡方法があれば問題ない (40代男性)
- 配布の負担や、経費削減になっていいと思う。その他重要な情報は、ウェブサイトを確認でいい (40代男性)
- 内容を充実させた上であれば、月1回の発行に変更することは賛成 (40代男性)
- 多数決で月1がいいというのならそれでいい (40代男性)
- 市の経費が抑えられ、町内会、組合の負担も減るのでいいと思う (40代男性)
- いいと思うが、お年寄りのこともしっかりと考えてほしい。何でもパソコンやスマホで済ませようとしているが、そういうことが難しい人がいることをしっかりと認識してほしい。紙文書にするとお金が発生するような世の中になってきているが、苦手な人が間違った操作で高額請求をされてしまったというようなことがあったらよくないと思う (50代女性)
- いいと思う。経費節減に有効で、担当の負担も減る (50代女性)
- いろいろな所に住んできたが、すべて月1回の発行だった。経費も月1回の方が安くなると思うので、市民に還元してほしい (50代女性)
- 回覧板を回す回数が減り、班長さんの仕事が減るのでいいと思う (50代女性)
- 自分はインターネットができるので月1回でもいい。月2回だと配布が大変でコストもかかる (50代女性)
- 重複している面もあるので多少ページ数が増えても月1回でいいと思う (50代女性)
- 配布の手間が省けていいと思う (50代女性)
- 予算を抑えることができる。今の時代はウェブでも情報は確認できるので、各班長の仕事も減ると思うので、月1回がいいと思う (50代女性)
- いいと思う (50代女性)
- 月1回だと2回分の内容が1つになって1回分の量が増えるのか。管理はしやすくなると思う (50代女性)
- 変更することに賛成。ただし、市からの情報はメールやウェブサイトリアルタイムで公開してほしい (50代男性)
- いつも内容が少ないのでいいと思う (50代男性)
- 大幅なコストダウン、各組長の負担の減は大きいと思う。特に、共働き世帯などへの負担軽減をいろいろな意味で削減していくのは、これからの時代に必要 (50代男性)
- 月1の発行でいいと思う (50代男性)
- 職員の負担を減らせるかもしれないのでいいことだと思う (50代男性)
- 特に問題ない (50代男性)
- 月1回になっても市民に伝えなければならぬことがちゃんと伝わっていれば問題ないと思う (60代女性)

- 経費削減、集約可能。多忙の人が多く、月1回でまとめて記載してもいいのではないかと（60代女性）
- 発行にかかわっている人の負担が減る（60代女性）
- そのほうがいい（60代男性）
- 何を伝えるかということであり、月1回で十分ではないかと思う。できれば、議会や病院、学校などの定期刊行物も別発行とせず、それらの内容も一緒に網羅してほしい（60代男性）
- 月1回程度でいいと思う。興味あるイベント等があればウェブで詳細を確認できるようにすればいい（60代男性）
- 変更したほうがいいと思う。現状月2回の配布はかなりの負担。月1回にすることで財政面にも効果がある（60代男性）
- 最近ページ数が少なく、このページ数のままなら月1回でもいい。ただし、行事、講座、講習会等の実施月日と募集締め切り日が発行日から余裕のある期間にしてほしい。募集締め切りが近い時があり、応募などが間に合わないこともある（70代女性）
- いいと思う（70代女性）
- 広報ふじから情報を得ている。2回分の情報量を1回にまとめられるか、情報量を精査できれば1回でもいい（70代男性）
- 配布は町内組長が届けてくれるが、軒数が多い組は大変。近年の広報を見ていると月1回でも十分だと思う。月初めに連絡事項、お知らせ、伝達等をまとめたらいい。県民だよりを参考に、表紙も下半分は記事に利用してはどうか（70代男性）
- 月2回は多すぎる。月1回で十分だと思う（70代男性）
- 月1回の発行で市の動きを捉えるのは十分。80代になり、文明の機器は全然なく、用紙による文字でしか知ることができない（80代男性）

#### 【変更しないほうがよい】

- 月1回では若干少ない印象を受ける（30代男性）
- 発行回数が月1回では行政が分からないので1回はよくないと思う（60代女性）
- 残念な気持ち（60代女性）
- アンケート調査では、80%が月1回の発行とのこと。メリットは理解できるが、デメリットの方が多く感じており、その1つは紙面からの情報数が少なく、いくらQRコードを活用しても自分の利用する画面のみしか閲覧しない。また、インターネットを利用できない人達の課題は単純ではないと思う。なぜ1回の発行に変更をするのか分からない。地区委員や町内会長から不満の声があるのか。もし、不満があるのであれば、そんな人達に責任者をお願いしたくない。町内の役職は責任あるボランティア活動（60代男性）

#### 【その他】

- 私は月1回でも構わないが、広報ふじは市民活動の宣伝の場にもなっているため、回数が減ると困る人もいるかもしれない（20代男性）
- 特にあまり気にしない（30代女性）
- 配布作業の負担、発行費用のことが書かれていたが、月1回にする場合、インターネットで詳細を確認するということになり、インターネットが利用できない人に情報が届きにくくなって

しまうと書かれている。インターネットを利用できない人も多くいると思うので、月1回発行の場合はページ数を増やし、必要な情報は省略せずしっかり載せるようにしてほしい(30代女性)

- 組長をやっているときに、広報の配布は数があると重さもあり大変だった気がする。配布の手間が2回から1回になるのはいいことかもしれないが、載せる情報が古くなったりあまり先のことですべて忘れてしまったりするかもしれない(40代女性)
- 市からの情報量が減るのはよくないと思うので内容の充実が求められる。イベント掲載依頼の期限が厳しくなると大変かもしれない(40代女性)
- 市のウェブサイト等での情報を増やしてほしい(40代男性)
- 月2回でも1回でも構わない。何年か前に3か月くらい広報ふじ等が届かなかったことがあった。その時の班長が届けてくれなかったので、班長に苦情を言ったが、改善されなかった。届かないことがないようにしてほしい(40代男性)
- 重要な連絡事項が伝わるような工夫。高齢者や外国人が理解しやすい紙面(50代女性)
- 現状の内容であれば、内容を精査して簡単なお知らせ形式の発行物にしてもいいのではないか。詳しい内容が必要ならインターネットを利用したり特別号を発行したりしてはどうか(50代女性)
- 地区自治体の負担が大きいなら、区割りの見直しなどの対策がとれると思う。また、月1回はカラー版、もう1回は単色刷りなど、コストを下げる方法もあるのではないか(50代女性)
- 今までどおり月2回のほうがいいが、組長になったら1回の方が楽だと思う(50代女性)
- 真面目な編集姿勢に好感を持っているので、回数は特に気にならない(50代女性)
- 密な連絡が取れなくなり、お知らせのタイミングを逃す結果が増えないかが心配。各種団体からのお知らせが載せにくくなるなども考えられる(50代男性)
- インターネット等、できないので、イベントなどのお知らせはしっかりカレンダーなどに書いておかないと、メモ用紙ではなくすおそれがある(70代女性)
- 費用対効果を考え、一度月1回に変更し市民の反響をみたらどうか。当然だが広報で事前PRをお願いしたい(80代男性)

問10 「広報ふじ」を現状どおり月2回発行することについてのご意見を自由に記入してください。

【現状どおりでよい】

- 2回でも特に問題はない(30代女性)
- 楽しみではある(30代女性)
- 県外出身者としては、届いて読む楽しみがあるので月2回のメリットも感じる(30代女性)
- 適切な発行頻度を感じる(30代男性)
- 大変だと思うが、2回だとありがたい(40代女性)
- 市のいろいろなことやイベントなどを広報ふじから知ることが多く、月に2度配布されることを楽しみにしている。情報がタイムリーであり、あまり先の予定ではなく、身近でいいと思う(40代女性)
- このままでもいいと思う。楽しみにしている人もいる(40代女性)
- 高齢者だけの世帯の安否確認ができていい(40代男性)
- 内容を充実させないのであれば、従来通り月2回の発行に賛成(40代男性)
- 2回発行しないと情報などが後手になってしまうなら今のままでいいのではないか(50代女性)
- 地区内の高齢者には、QRコードは不評。ショートメッセージによる詐欺メールも増えており、スマホを使いこなせない、パソコンを利用しない世帯もまだまだ多い。市の広報紙はそんな高齢者にとって貴重な情報源であり、是非月2回の配布を続けてほしい(50代女性)
- 市政のあり方が分かるので、2回は2回の意味があると思う。インターネットをしない人にも情報が伝わる(50代女性)
- イベント情報など、楽しみにしているので2回がいい(50代女性)
- 配布の回数は多くても、受け取って読むには今くらいの量がちょうどいい(50代女性)
- 月2回にすることで市民に周知することを限定しなくていい(50代男性)
- 2回がいい(60代女性)
- 内容が多く載せられる(60代女性)
- 広報ふじは内容が濃いので、月1回より現状どおり月2回がいいと思う。聞こえない情報や知っていて損のない情報はありがたい(60代女性)
- 年配者は広報ふじが配布されるのを楽しみにしている。これまでどおり月2回発行を維持してほしい。市から配布されるものは欠かさず目を通して(60代男性)
- 現状で不便はない。よく広報されている(70代男性)
- 現状どおり2回の配布でいいと思う。1回にすることにより、先の情報を盛り込む必要があり、情報の伝達が薄くなると思う(70代男性)
- 各家庭でどのように見ているか分からないが、月2回の発行は家庭内のコミュニケーションにもなる。配布する人も大変だと思うが、役職を受けた以上、地区を知るチャンスだと思う(70代男性)

【月1回にした方がよい】

- 2回だと多いので、月1回がいい(30代女性)
- ごみが出るので絶対にやめてほしい(30代女性)



- 配布作業の負担、発行の費用がかかるということは確かにあると思う。月1回発行でページ数を増やして、伝えなければいけない情報はしっかり伝わるようにすればいい（30代女性）
- 2回だと配布する組長が大変。今は夫婦共働きなど時間がない世帯が多いように感じるので、月2回発行でなくてもいいと思う（30代女性）
- 片親世帯、共働き世帯の増加を考えると、町内の役員の仕事に時間を割けない。ボランティアで町内の役員をしてくれているので、負担を減らすべき。今はインターネットの時代で、簡単に情報を知ることができるので、十分だと感じる（30代女性）
- もらう側、配布側とも負担なのでやめたほうがいいと思う（30代女性）
- 町内会の人が配るのが大変そう（30代女性）
- 月2回も必要ないと思う（40代女性）
- 大事なお知らせなどは漏れがなさそうで安心だが、作る人、配る人の労力を考えると1回でもいいと思う（40代女性）
- 特に思うところはないが、月2回を1回にしたほうが組合長も少し仕事が楽になると感じた（40代女性）
- 配布する手間がかかる。紙資源を削減すべき（40代女性）
- 1回でいいと思う。1回の内容を濃くしてほしい（40代女性）
- メリット、デメリットは納得するが、2世帯家族で1部しか届かないため、母家から子どもに必要な幼稚園や小学校に関する情報が載っていたらもらうという形式で、この1年手にすることがなく、必要性を感じられずにいる。知りたいときはホームページで検索するようにしているので、月1回の紙面でウェブサイトの情報更新をまめにしてほしい。月1回の紙面にどの情報載せるか大変になるとは思う（40代女性）
- 町内会、組合の負担が大きい（40代男性）
- 月1回でいいのではと思う（40代男性）
- 月1回でいいと思う（40代男性）
- 配布する人の負担になるので、1回でいいと思う（50代女性）
- 配布の手間があるので1回でいいと思う（50代女性）
- 1回でいいと思う（50代女性）
- 2回はいらぬ。なぜ今まで2回だったのか不思議に思う（50代女性）
- まとめられるなら、月1回でページ数を増やして済めば経費の節約にもなる（50代女性）
- 内容が少ないので1回でいい（50代男性）
- 1回でいいと思う（60代男性）
- 月2回発行してタイムリーに情報を発信する必要はない。市ウェブサイトを開覧すれば急ぎの情報は得られる時代になっており、月2回の発行は不要に思える（60代男性）
- 頻りにイベントや行事があるわけでないだろうから、経費や手間などを考えれば、月1回で十分だと思う（60代男性）

#### 【その他】

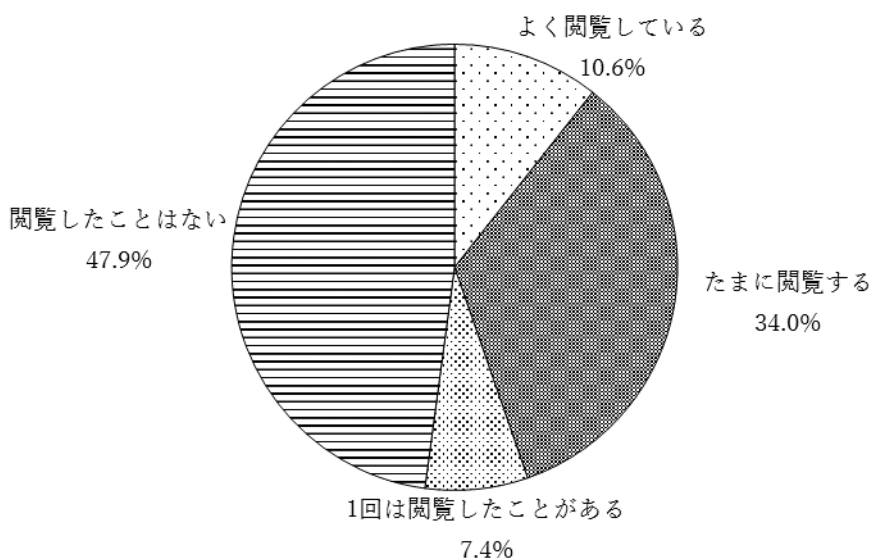
- 月2回発行しても読んでいない家庭は多いかもしれない（20代男性）
- デメリットを考えると月2回発行でなくてもいいと思った（30代女性）
- 特にあまり気にしない（30代女性）

- 読みきれないこともある。重要な内容を集約してはどうか (30代女性)
- 経費や負担を考えると大変な気がする。何度も回覧板が来るのは嫌。タイムリーに読めるが少し遅れるときもある。回覧板より各家庭にポスト投函してくれた方が楽 (30代女性)
- 自分の親世代はインターネットをあまり利用しないので、月1回発行にした場合、発行時に載らない情報に関しては取得が困難になってしまう。班が多いと回覧で回ってくる時期も遅くなってしまうので月2回発行は大変だと思う (30代女性)
- 発行側のメリットが多いのであれば2回発行でもいいと思うが、大変なのであれば減らしても困らないと思う。以前2回分がまとめて同じ時に届いたことがあり、それなら減らしたほうがよいのではないかと思う (30代女性)
- 月2回の発行を継続する場合には、カラー印刷をやめるなど、コスト削減を図るべき (30代男性)
- 回覧で回ってくるのが遅くなるときがあり、情報が古い場合がある。地区役員・班長の負担が大きい (40代女性)
- 月2回でも1回でも構わない。何年か前に3か月くらい広報ふじなどが届かなかったことがあった。その時の班長が届けてくれなかったので、班長に苦情を言ったが、改善されなかった。届かないことがないようにしてほしい (40代男性)
- 月2回で負担だと言う人がいるのは確かだが、紙のまちとしてペーパーを使用するのは悪くないと思っている (40代男性)
- 取材も大変だと思う (50代女性)
- 2019年末まで東京都内で暮らしていたので、回覧板ベースの近所とのコミュニケーションは新鮮に感じているが、今以上は増えなくてもいいというのが率直な感想 (50代女性)
- 2紙の相違がわかりにくい (50代女性)
- 遊びの活動が多いので特に関心がない (50代男性)
- 町内会役員の負担軽減を考えると月2回の発行はやめてほしい。できればウェブ配信に切り替えてもいいと思う (50代男性)
- タイムリーな情報発信という意味では月2回もありだと思うが、コスト、役員などへの負担を考えると減らしてもいいと思う (50代男性)
- 高齢者でスマートフォン、インターネットなどを利用できない人がまだまだ数多くいる現実があり、広報ふじを情報源として、見て知ることが多いよう (60代女性)
- どうしても月2回伝えなければならない内容があるのか。1回で不足の月だけ臨時で発行すればいいのではないか (60代男性)
- 私の町内は地区の情報共有を目的に月2回の定例会を開催している。その際、組長に市からの配布物の配布を各家庭への回覧板として委託しており、各家庭の掌握ができています。また、町内の役員がだらしないと町内は発展できないと思っている。他市町における広報紙活動はどうなっているのか (60代男性)
- 1人暮らしだと認知症予防で広報ふじ、新聞など隅から隅まで読む (70代女性)
- 月2回の広報ふじは経費もかかるので、必要ないと思う。富士ニュースなどの地元紙に市の動きを掲載してほしい (80代男性)

問11 現在、「広報ふじ」は町内会（区）を通じて世帯配布をお願いしている方の負担を軽くするため、配布文書の重量軽減を目指し、ページ数の削減に取り組んでいます。そのため、QRコードを活用し、掲載できなかった記事に関する詳しい内容を市ウェブサイトから見ていただくよう努めています。広報紙掲載記事よりも、さらに詳しい情報を得るため、これまでに市ウェブサイトを読んだことはありますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 94 人

1	よく閲覧している	10 人	10.6%
2	たまに閲覧する	32 人	34.0%
3	1回は閲覧したことがある	7 人	7.4%
4	閲覧したことはない	45 人	47.9%

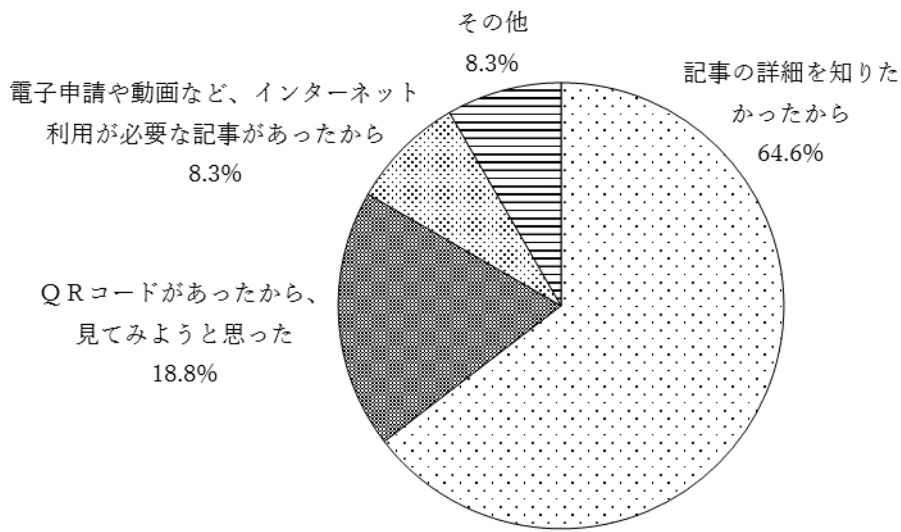


問11で、「1 よく閲覧している」「2 たまに閲覧する」「3 1回は閲覧したことがある」と答えた人に伺います。

問11-1 その理由を次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 48 人

1	記事の詳細を知りたかったから	31 人	64.6%
2	QRコードがあったから、見てみようと思った	9 人	18.8%
3	電子申請や動画など、インターネット利用が必要な記事があったから	4 人	8.3%
4	その他	4 人	8.3%



●その他の意見

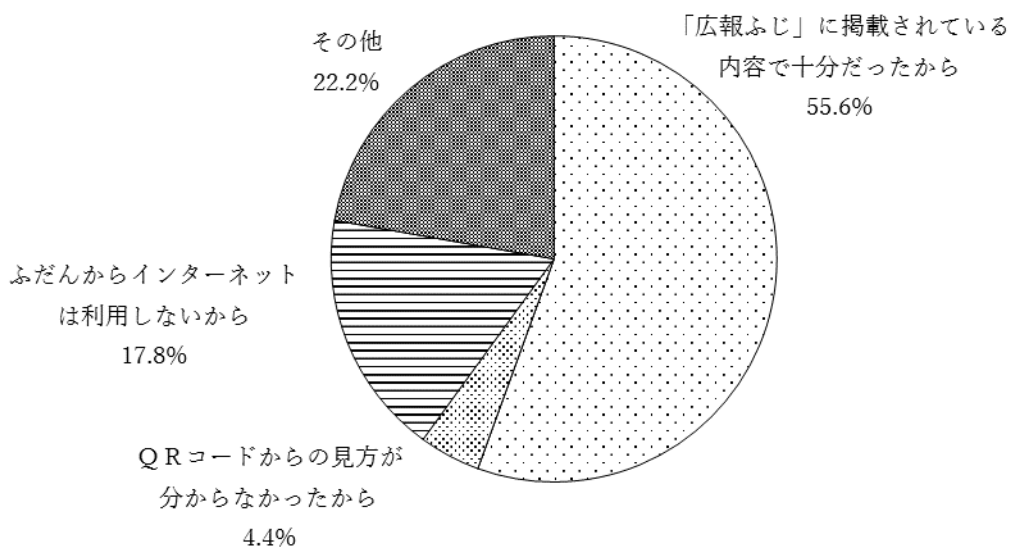
- ・コロナ関連の詳細が知りたかったので、まめに閲覧している
- ・バックナンバー閲覧のため
- ・表紙の写真
- ・イベントなど最新のローカル情報収集

問 11 で、「4 閲覧したことはない」と答えた人に伺います。

問 11-2 その理由として主なものを次の中から 1つだけ選んでください。

回答者数 45 人

1 「広報ふじ」に掲載されている内容で十分だったから	25 人	55.6%
2 インターネットを見るのが面倒だったから	0 人	0.0%
3 QRコードからの見方が分からなかったから	2 人	4.4%
4 ふだんからインターネットは利用しないから	8 人	17.8%
5 その他	10 人	22.2%



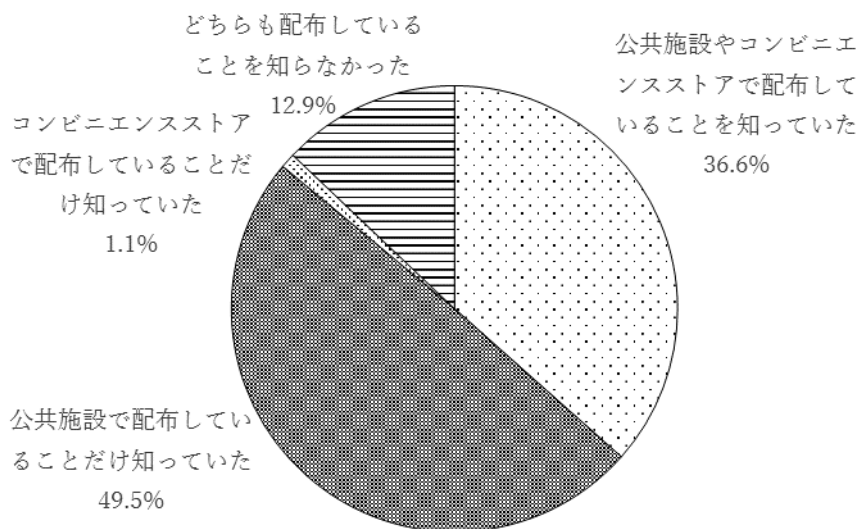
●その他の意見

- ・QRコードで閲覧できることを知らなかった
- ・QRコードに気がついていない
- ・ガラケーだから
- ・知らなかった
- ・私の両親は携帯電話を持っていないので閲覧したくてもできない
- ・機器を持っていない
- ・2世帯家族で1部しか来ない。見る必要が今までなかったため閲覧するに至らなかった
- ・広報ふじを見たいから

問12 「広報ふじ」は世帯配布のほか、公共施設やコンビニエンスストアでも配布しています。このことをご存じでしたか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 93 人

1	公共施設やコンビニエンスストアで配布していることを知っていた	34 人	36.6%
2	公共施設で配布していることだけ知っていた	46 人	49.5%
3	コンビニエンスストアで配布していることだけ知っていた	1 人	1.1%
4	どちらも配布していることを知らなかった	12 人	12.9%

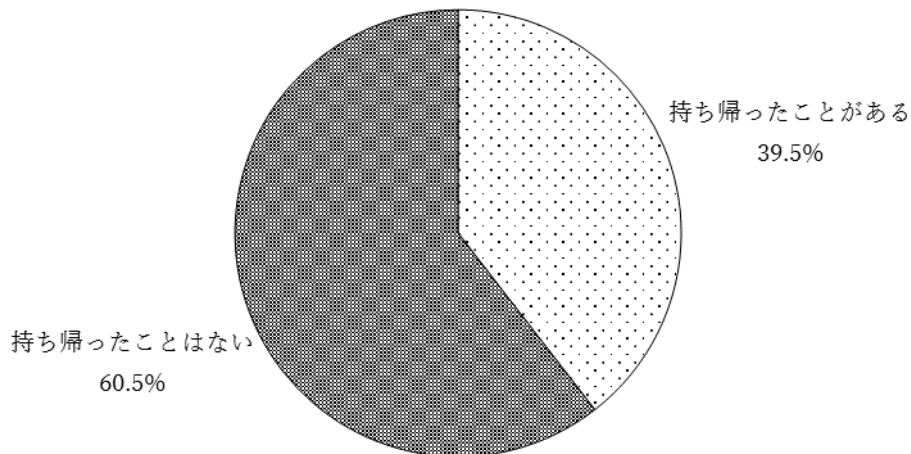


問12で、「1 公共施設やコンビニエンスストアで配布していることを知っていた」「2 公共施設で配布していることだけは知っていた」「3 コンビニエンスストアで配布していることだけは知っていた」と答えた人に伺います。

問12-1 公共施設やコンビニエンスストアで配布している「広報ふじ」を持ち帰ったことはありますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 81 人

- |   |            |      |       |
|---|------------|------|-------|
| 1 | 持ち帰ったことがある | 32 人 | 39.5% |
| 2 | 持ち帰ったことはない | 49 人 | 61.5% |

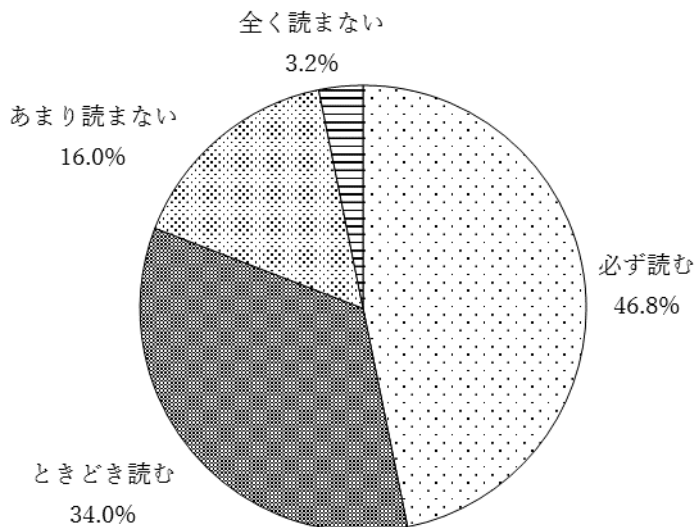


問13 広報ふじ以外に、町内会（区）を通じてご自宅に届く文書は読んでいますか。  
近いものを1つずつ選んでください。

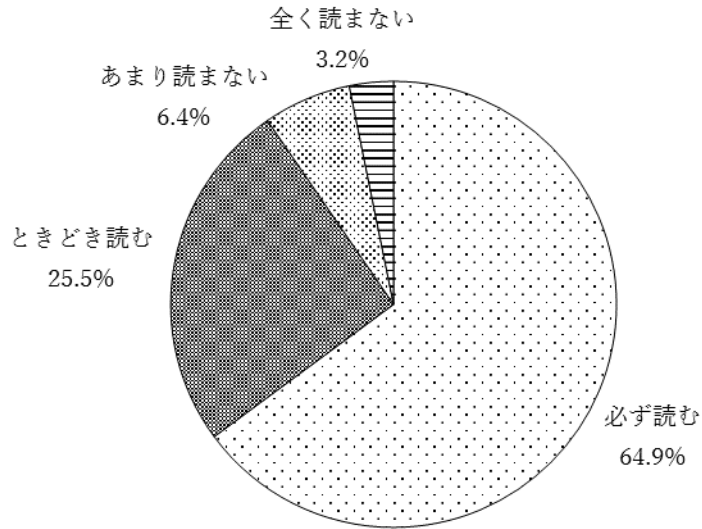
回答者数 94 人

		必ず読む	ときどき読む	あまり読まない	全く読まない
世帯配布	ア 市議会だより・富士市社会福祉協議会だより・中央病院だより等	44 人 46.8%	32 人 34.0%	15 人 16.0%	3 人 3.2%
	イ 市のイベント・講座等のお知らせ	61 人 64.9%	24 人 25.5%	6 人 6.4%	3 人 3.2%
世帯回覧	ウ その他の市からのお知らせ	56 人 59.6%	21 人 22.3%	13 人 13.8%	4 人 4.3%
	エ 地域の小学校・中学校からの文書	39 人 41.5%	24 人 25.5%	15 人 16.0%	16 人 17.0%
	オ 地域の保育園・幼稚園からの文書	33 人 35.1%	21 人 22.3%	22 人 23.4%	18 人 19.1%
	カ 地区まちづくり協議会など、地域で活動する団体が作成する文書	39 人 41.5%	30 人 31.9%	16 人 17.0%	9 人 9.6%
	キ 富士警察署からの文書	44 人 46.8%	31 人 33.0%	14 人 14.9%	5 人 5.3%
	ク 地域にある福祉施設からの文書	32 人 34.0%	33 人 35.1%	19 人 20.2%	10 人 10.6%

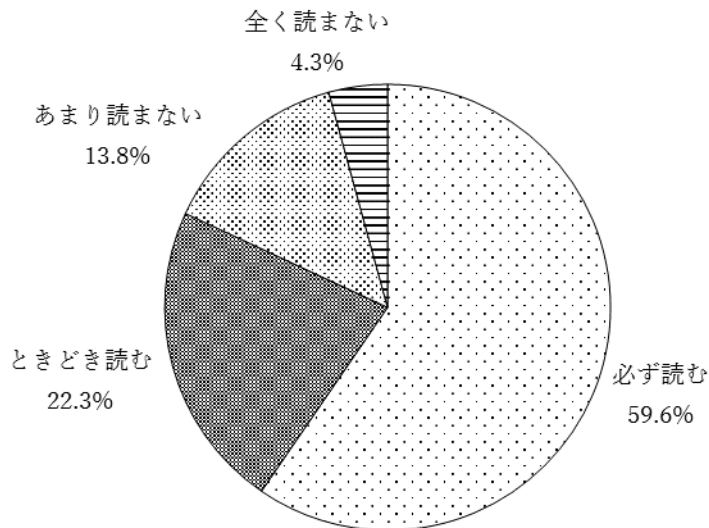
ア 市議会だより・富士市社会福祉協議会だより・中央病院だより等



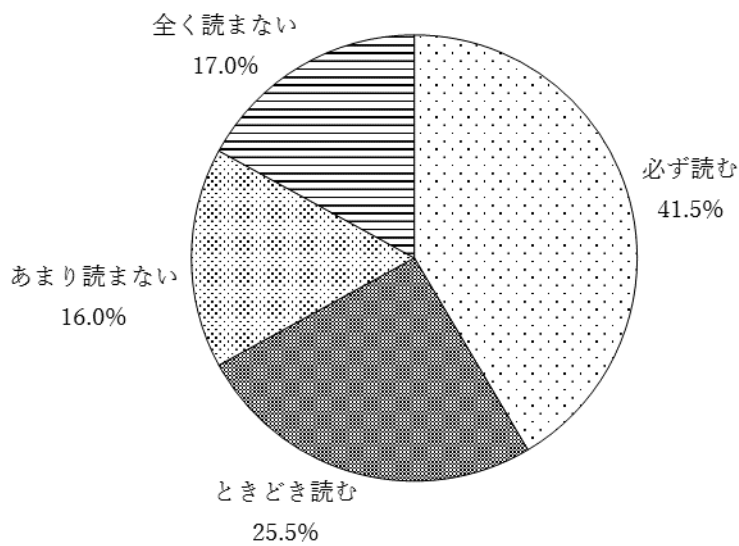
イ 市のイベント・講座等のお知らせ



ウ その他の市からのお知らせ

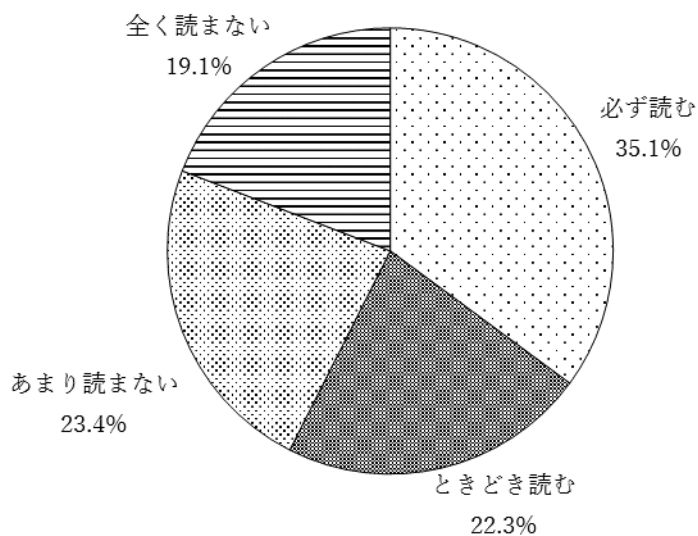


エ 地域の小学校・中学校からの文書

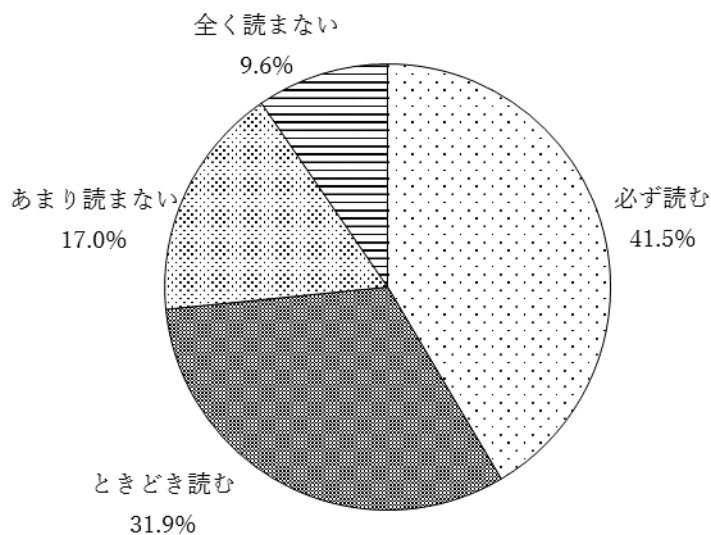




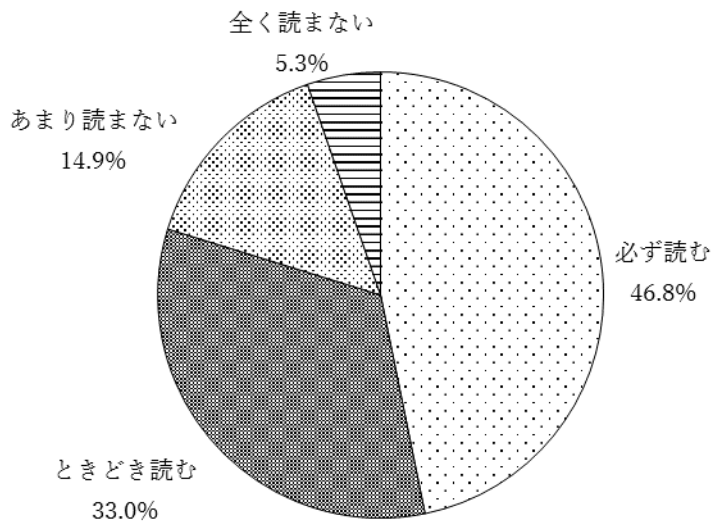
オ 地域の保育園・幼稚園からの文書



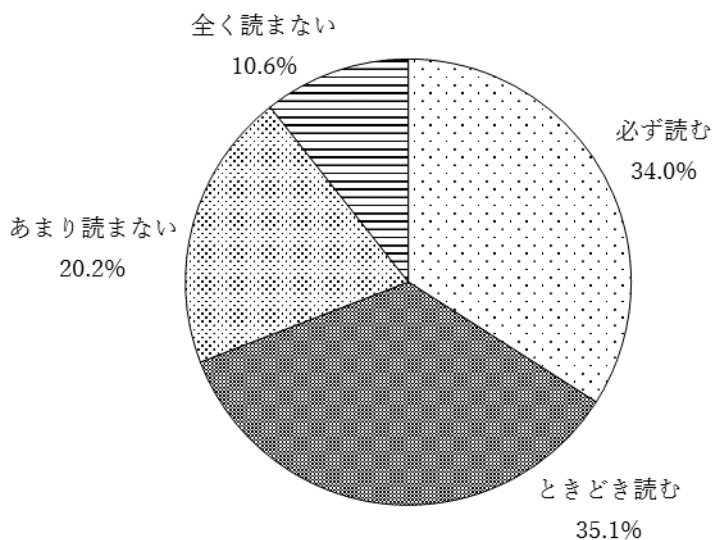
カ 地区まちづくり協議会など、地域で活動する団体が作成する文書



キ 富士警察署からの文書



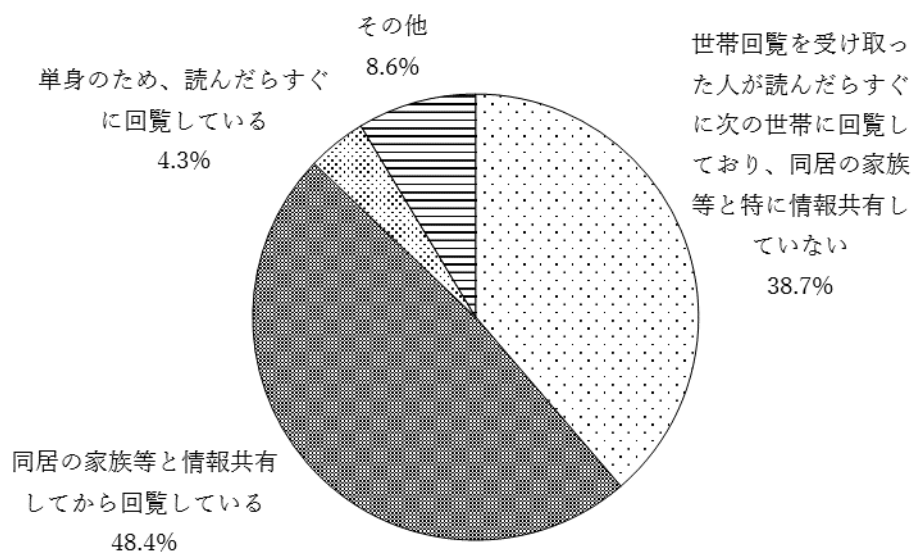
ク 地域にある福祉施設からの文書



問 14 各世帯に配布されず、世帯回覧されている文書の情報は、どのように取り扱っていますか。  
次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 93 人

- |   |      |       |
|---|------|-------|
| 1 世帯回覧を受け取った人が読んだらすぐに次の世帯に回覧しており、同居の家族等と特に情報共有していない | 36 人 | 38.7% |
| 2 同居の家族等と情報共有してから回覧している                             | 45 人 | 48.4% |
| 3 単身のため、読んだらすぐに回覧している                               | 4 人  | 4.3%  |
| 4 何も読まずに回覧している                                      | 0 人  | 0.0%  |
| 5 その他   | 8 人  | 8.6%  |



## ●その他の意見

- ・マンションの1階に回覧板の袋が下げてあり、いつ更新されているかよく分からないのであまり読んでいない
- ・町内会に入っている実家と別居だが、町内会上は同じ世帯になっているため、回覧板は素通りしている。隣のうちには一呼吸、という感じで届けてはもらっているところ。我が家では、世帯主ではなく、その妻の私しか目を通さない
- ・回覧板は速やかに回したいので、自分が見たらすぐ回す。伝える必要なことは家族に口頭で伝える。時々覚えたいものの詳細が回覧で回ってくる。コピーしたいけどなぜ配布してくれないのかと思う書類もある。見て回すだけでは用が足りないものも多い
- ・親世帯が受け取る。滅多にないが、必要なものだけ子世帯にも見せてもらっている
- ・地域行事の予定など大切な用事は写メをとり、それ以外は受け取った人だけ見て回している。2世帯で住んでいるため、親世帯が読み、関係することや必要な情報を展開してくれていると思う
- ・アパートで回覧されないが、掲示板に貼ってくれているのを見る。ただし、広報ふじや病院だより、世帯配布の文書は残しているため、目にしたときだけ私も読む
- ・受け取った人が読んだらすぐに回覧して、その後同居の家族に伝える

問15 この1年の間に発行された「広報ふじ」の中で、印象に残った記事がありましたら、その記事の内容と印象に残った理由をお書きください。

【特集 ひとことの影響】

- 1226号のトイレットペーパーについての記事。昨年のコロナ禍でのトイレットペーパーのことはとても関心があった出来事なので（30代女性）
- 11月5日号「そのひとこと、うそ？ほんと？」実際の製紙会社の人や店員の声が聞け、さらに、どう行動したかリアルに見られてニュースが身近に感じられた。SNSの問題と結びつけられるため、子どもたちとの話題や授業に使えるそうだったと思った（30代女性）
- トイレットペーパーが表紙の11月5日号「ひとことの影響」。このようなことがトップ記事になっていることも珍しく、表紙も印象的で内容も興味深く読んだ（40代女性）
- 記事ではないが、トイレットペーパーの表紙がカッコよかった（40代女性）
- トイレットペーパーが品薄の時の記事（50代女性）
- トイレットペーパーを買い占めに走った背景の究明記事（50代女性）
- 11/5表紙「ひとことの影響」、9/5「新環境クリーンセンターのお知らせ」、7/5「生物多様性ふじ」（50代女性）
- 「ひとことの影響」は、多面的に記事が掲載されていた。また、どのようにすれば防げるかまで掲載されているため、現在の状況の中、大切な話題であり、その上分かりやすかった。（70代男性）

【特集 フジシで生きる】

- 富士市に外国の人が多く暮らしているという記事。普段生活していて外国の人が増えたなと感じていたが、どういう風に生活しているということが分かりよかった（30代女性）
- 富士市内で暮らし就労する外国籍の人の記事。スーパーなどで定住していると思われる外国籍の若者に会う機会があるが、接点もなく、どんな仕事に就いているのか、どんな気持ちで富士市で暮らしているのか分からず、不安を持っていた。記事を読んで身近な人と感じられるようになった（50代女性）

【ほうじ茶ブランド化】

- ほうじ茶のブランド化。面白い取組みだと感じた。青春市民の紹介は楽しく読んでいる（30代女性）
- 茶農家4軒のほうじ茶ブランド立ち上げの記事（40代女性）

【新環境クリーンセンター】

- 新環境クリーンセンターの記事。期待が大きく楽しみだった（50代女性）
- ふじかぐやの湯（50代男性）
- 新環境クリーンセンターの記事（50代男性）
- 新環境クリーンセンターの記事。関心があり、富士市も進化しているなど誇らしく思った（60代女性）

【手作りマスクの作り方】

- 手作りマスクの作り方。型紙（40代女性）
- 5/5（1214号）手作りマスクの作り方。マスク不足の状況が続いており、役に立つ企画の記事だった（60代男性）

## 【we are 青春市民】

- 近所の人がワイン作りの記事を見て大変驚いたので強く印象に残っている (50代女性)
- 青春市民に出てくる人の活動の話が印象的だった (60代女性)

## 【その他】

- 総合案内コンシェルジュは、素晴らしいアイデアだと感じ、印象に残っている (30代女性)
- 全体的に見やすくなった。(30代女性)
- 元吉原幼稚園の閉園 (30代女性)
- 2020年6月20日「富士市結婚新生活支援補助金」。もっと早くこんな支援あったらよかったと当時新生活が苦しかったので印象に残った。児童手当など収入に関係なく一律で支給されているが、共働きで高収入の人も、自分のように怪我で働けず年収200万で子ども3人の家庭もあるので、家庭の年収も考えてほしいと思った (30代女性)
- 小中学校適正規模・適正配置基本方針について。少子化の中、自分の子どもが通う小学校の教育体制をどのように維持していくか気になるから (30代男性)
- 元日発行の中央小学校の表紙を見たくてまちづくりセンターに行った。知り合いが載っていると知りたくなる (40代女性)
- 特に印象に残った記事はないが、最後のページで昔の富士市を思い出と共に紹介していた記事が好きだったので終了してしまっただけ残念 (40代女性)
- 広報ふじを読んでいないのでふじペイを申し込むことができなかった。もっと違う方法にしてほしかった (40代男性)
- 今までドッジビー教室はあったが、スポーツ振興課が初めてアルティメット教室を開催してくれた (40代男性)
- マイナポイントの情報を見てマイナンバーカードの作成をやろうと決めた。広報ふじを見なかったら作成していないかもしれない (40代男性)
- 表紙の写真を楽しみにしている。記事は献血情報ぐらいしか記憶がない (40代男性)
- 新年号の表紙は特に楽しみ (50代女性)
- イベントがなくて寂しい (50代女性)
- SDGsに関する記事。グローバル目標が17もあり、詳しく知らなかったので保管して読み返している (50代女性)
- いろいろあるが具体的にはない (50代男性)
- 覚えがない。記憶もない (60代女性)
- 最近ではない (60代男性)
- 文化交流イベントの開催案内に注意をしている。最近では、富嶽三十六景の富士市内から見た場所の散策案内に応募したが外れてしまった (60代男性)
- 情報誌であり、読み物と考えていないため、よほどのことがないと印象には残らない。イベント等の情報、開催予定は必ずチェックしている (60代男性)
- 各地区の行事。住んでいる近くでこんなことをやっているのかと知ることができる (70代男性)
- 印象に残った記事はない (70代男性)
- プロ野球独立リーグ福島レッドホープのキャンプレポート。このキャンプを事前に紹介してくれればよかった (80代男性)
- 特に記憶に残った記事はない (80代男性)

問16 あなたが、今後「広報ふじ」で特に知りたいと思うことや、取り上げてほしいと思うことがありましたらお書きください。

【新型コロナウイルス関連情報】

- 新型コロナウイルスについて (30代女性)
- コロナの情報 (30代女性)
- 新型コロナウイルスの状況をもっと教えてほしい。富士市の感染経路等 (40代男性)
- 昨今のコロナ禍における市の対応状況について、具体的かつ詳細な情報を取り上げてほしい (50代男性)
- 新型コロナウイルスなどでイベントが少なくなっているのでもっと増やしてほしい。あちこちの活動を知らせてほしい (60代女性)
- コロナの情報 (60代男性)
- 世界的にコロナが蔓延し、新しい用語が毎日使用されている。たとえばPCR検査など、広々と報じられても、一向に理解できない。このような用語解説をしてほしい。他には、ワーケーション、Maas、GIGAスクール構想、アーツカウンシルなど (80代男性)

【イベント情報】

- イベント情報 (30代女性)
- 子育て世帯なので、今までどおり市内のイベントなどを知りたい。また、コロナで無理なことが多いが、講座などの開催予定も楽しみにしてる (30代女性)
- 市内各地で開催されるスポーツイベント情報 (40代男性)
- 市内の各種イベント。市内の歴史的スポット (40代女性)
- 市民参加のイベント (50代女性)
- イベントの告知。中央病院の移転計画 (50代女性)
- ロゼシアター、ふじさんめっせなどのイベント掲載 (50代女性)
- 市のイベント。公募をしているお知らせ (60代女性)
- 従来通りだが、イベント等の情報、開催予定は重要 (60代男性)
- 地域交流や文化イベント開催の案内 (60代男性)
- 行事、講座、講習会等のお知らせ。各種相談案内とお知らせ (70代女性)

【その他】

- 高校生や大学生などの若者によるまちづくり活動の様子。東京など外部の人から見て富士市のプロモーション活動が効果的かどうかの検証 (20代男性)
- 市が力を入れている取組。教育に関するもの。各課の取組内容の紹介 (30代女性)
- 岳南電車が頻繁にイベントを行っているが、ローカルTVやSNSから情報を得ることが多い。広報ふじでも積極的に取り上げ、地元の人々のイベント参加を後押ししてほしい。不妊治療の情報が皆無なので、どのような助成金があり、成功率はどのくらいなのか、病院ごとの治療成績などの公表も希望する (30代女性)

- 地域での活動等は気になる。環境、地域復興など、どういったことに取り組んでいるのかを知る機会や知ることが少ないので、そういったことや行事などを知ることができるといい（30代女性）
- 富士市で作られる食べ物や工芸品を知りたい。それを知ること、インターネットで買わず、富士市で買い物をしようと思う。最近、様々なお店が閉店をしている（30代女性）
- 幼稚園の様子など。実際通ってる様子などが知りたい（30代女性）
- 11月5日号の特集のような社会の話題になっていることと、富士市とつながりがあるもの。富士市が頑張っている取組。富士市に住む人たちの本音。良いところや改善してほしいところなど（30代女性）
- 例えば市内の公園情報など、子育て世代が共有したいと思う情報。市内の犯罪について注意したほうがよい場所など（30代女性）
- 低所得者に有利な情報。母子家庭や父子家庭のことは色々やってくれる（30代女性）
- 市出身または在住者で、活躍している人の特集。コロナウイルスに対する情報、コロナ禍において困っている企業や施設の情報と支援に対する提案、呼び掛け等。他にはイベント情報、医療関係者に対する特集など（30代女性）
- 都市計画に関する事柄などの記事（30代男性）
- 道路などのインフラ整備の計画、工事進捗、開通予定など。市内の交通事故発生状況、多発地点の周知。「市長への手紙」などで、どのような意見が寄せられているのか（30代男性）
- 市の制度が変わるときには、分かりやすい言葉で説明してくれる特集を読んで、理解したいと思う（40代女性）
- 市議会で決まって変わったことや、市で新たに始めたこと、市に住んでいて必要な情報が載っているといいと思う。イベント情報もよく見る（40代女性）
- 市内の飲食店や、新規開店した店舗の紹介、富士市内の事業所の活動など（40代女性）
- 工場の煙害。他県から来ると、とても臭う（40代女性）
- 大気汚染について。昔よりずっとよくなったことしか地元の方からは話がないが、現在も他に比べたら心配なはず。事実と気をつけることなどをお知らせしてほしい（40代女性）
- 市の組織で各課の紹介をしてもらえるといい。地区のお祭りなど各地区のイベント等を1つに特化し、「こんなことやってます」と紹介してもいいと思う（40代女性）
- 市が取り組んでいる内容を知りたい（40代女性）
- 現状のままでいい。カラフルで見やすい（40代女性）
- 現状のままでよい（40代女性）
- この1年、広報ふじを目にしておらず申し訳ない。休日診療の情報はありがたい。2世帯家庭で1部のみなので、ゆっくり見る機会もなく、今後はウェブで見たいと思っている。ウェブであれば情報の更新の回転をよくしてもいい気がする（40代女性）
- コストがかかると思うので推奨はしないが、行事等の写真があると目を引く（40代男性）
- 地域イベント情報、売ります・買います、譲ります・引き受けます、頑張る市民、活躍する市民を地域の顔として取り上げる、新しい施設や店舗の紹介、地域名所ピックアップ、行政情報（40代男性）
- 富士ニュースを購読しているが、それを読んで、市長が様々な企画を考え、実行していると思っていた。今回のアンケートで市長戦略課があることを知ったので、例えば市長戦略課の企画

のお知らせをシリーズで知りたいと思った。今回、市の組織体制、ネーミングを見直すようであれば、部、課、室を知るため、それぞれの部署からのお知らせコーナーがシリーズであつたらいいと思う（50代女性）

- 今の取材姿勢で十分（50代女性）
- ささいな情報でも知ると知らないでは大きいので、市に関する情報は知りたい（50代女性）
- 富士霊園を見本にして、森林墓園に永代供養塔を作してほしい（50代女性）
- 親戚関係が役所に勤務していないで、試験を受けて公務員になった職員の数（50代女性）
- 富士山・観光課について（50代女性）
- 同性パートナー制度を富士市が導入するというニュースを聞いたが、実際に移住を考える人は現れたのか、また同性パートナーをサポートするには制度だけではなく、地域、保育園、小学校など広い世代が受け入れる素地が必要だと思う。少しずつ市民の意識を育て、移住した人々が後悔しない様な地域づくりのために、広報もぜひ活用してほしい（50代女性）
- 市内の変化。新しい店（50代男性）
- 中高年への教育、学習支援。スポーツ、武道の団体（50代男性）
- 市民が得する情報。癒やしの情報。給付金、補助金、助成金の情報（50代男性）
- 価値観の世代別アンケートの結果。テーマは、身近なこと、親子関係、人間関係、若い人がこれからの富士市をどのように変えていきたいのかなど（60代女性）
- 今のままで満足（60代女性）
- 防災について、短期の特集ではなく、ある期間継続して市民が知ってためになる記事を載せてほしい（60代男性）
- 社会福祉、市における色々なイベント情報や情報を多彩に載せてほしい（60代男性）
- 健康に関するセミナー、教室等。富士市にある文化財や歴史について（60代男性）
- 市の長期計画などですでに決まっている、例えば中央病院移転など、オープンにできる範囲で知らせてはどうか（70代男性）
- 各地区、町内会等の特色。神社、お寺等の紹介（70代男性）
- まちづくりセンターの職員の愛想が悪い。こちらから声をかけないと返事がないことも多々ある。各地区まちづくりセンター発着の歩きをしているが大方印象が悪い。公僕ではないのか。一度、地区まちづくりセンター特集をしてほしい（70代男性）
- 暮らしのたよりは継続してほしい。知られていない伝統的行事など、例えば、米之宮浅間神社の浜降り神事、水神社の富士川川祓い神事など（70代男性）
- 現状でいい（70代男性）
- 20日号の最終ページにある翌月のカレンダーに、緑地公園グラウンドで開催される市の大会、県大会、東海大会、全国大会の開催日程を掲載してほしい。特にアルティメット、栄光杯全国選抜高校女子ソフトボール大会は固定しているように思うので（80代男性）



問17 その他「広報ふじ」を含めた市からのお知らせ文書等について、ご意見がありましたら自由にお書きください。

- コロナ禍でも家庭で楽しめる情報（30代女性）
- 不妊治療中、「我が家のアイドル」を見て何度もつらい気持ちになっていたのに、一番後ろのページに来たのはとてもよかった。私は現在、子どもに恵まれているが、不妊でつらかったときのことを思うと、不妊で苦しんでいる夫婦につらい思いをしてほしくない。自由に意思表示できない子どものプライバシー保護の観点からもコーナーの廃絶を強く希望する（30代女性）
- 託児付きの講座、子どもが参加できそうな講座は1番情報を得やすいと感じており、いつもチェックしている。QRコードは私達世代でも面倒なので、高齢の人はもっと大変（30代女性）
- 広報ふじは文字が小さいので、じっくり読まず、ざっと読むだけになってしまう（30代女性）
- 回覧のみで済ますものと配布されるものとの違いは何か。印刷などの経費の問題もあると思うが、先日、防災のものが回覧のみになっていたのに理由が気になった（30代女性）
- 文書を見る時間をなかなかとれず、回覧板を回すだけになりがち。紙面を増やすと経費もかかると思うので、現状プラスインターネット活用が無難であると感じる（40代女性）
- 民間のイベントのチラシが、一緒に回ってくるとうれしい。回覧板にチラシを入れる条件や方法を、周知してほしい（40代女性）
- 毎回、表紙はどんな子が出てくるのかなと楽しみにしている（40代女性）
- 問合せ先が、電話番号のみでなく、メールアドレスも載せてほしい。気軽に問い合わせできる（40代女性）
- 2世帯なので、ごみの出し方カレンダーなどは後でもらいに行く（40代女性）
- 特典を用意したらどうかと思う（40代男性）
- 市のウェブサイトの内容を充実させてほしい（40代男性）
- ふじペイのようなお得なクーポンがあったが、高齢者がもっと気軽に購入しやすい環境でやってほしい（50代女性）
- 漫画っぽさを取り入れて、読みやすい、興味が湧く広報紙にしてほしい。例えば、市長の挨拶を「となかいさんからのお手紙」のように（50代男性）
- 回覧板の紙はなるべく各家庭に1枚配布してほしい。世帯配布でなく回覧だと隣が早く持って来いとうるさいので母しか見られない（50代男性）
- もっと富士市の特色、自慢できるところをいっぱい載せてほしい（50代男性）
- 今までどおりいろいろな情報をお知らせしてほしい（60代女性）
- お知らせ文書をもう少し増やしてほしい（60代女性）
- 限度があることも承知しているが、広報ふじだけではなく、メディアを通じてもっといろいろな市のPR活動をお願いしたい（60代男性）
- 情報量の関係で従来より多くなることは避けるべき。ただし、内容は前例踏襲ではなく、吟味する必要がある（60代男性）
- 特に現状で不満はない（60代男性）
- 回覧が遅いときがあり、講座、講習会等の応募締切に間に合わない。特に、募集が先着順のときは応募が間に合わないことが多い。先着順ではなく、抽せん制にしてほしい（70代女性）
- 近年紙質が厚くよくなっているが、もう少し薄くてもよいのではないかと（70代男性）

- 2世帯住宅なので2部もらえるようにしてほしい。今は1部しか配られていない (70代男性)
- 特になし。いい広報紙だと思う (70代男性)
- ビジュアル的な記事。記事は12ポイントの文字で (70代男性)
- 11月17日の議会報告会「スポーツのまちづくり」に出席したが、PR不足が多く出た。広報ふじのカレンダーに加え、例えばアルティメット等、富士川緑地で開催される競技は、2~3週間前から土手の出入り口付近に横断幕を掲げPRしてほしい (80代男性)
- 富士市には26か所にまちづくりセンターがある。全国にこんなに多くある所はない。市役所へ足を運ばなくても、近くのまちづくりセンターを今まで以上に活用したいと思う (80代男性)

### 3 「葛飾北斎に描かれたまち 富士市」について

#### ■調査の目的

江戸時代の浮世絵師・葛飾北斎の作品「富嶽三十六景」(全46図)のうち、3図が富士市の風景を描いたと言われています。

本市では、北斎を通じてまちを広くPRするため、令和元年10月に、北斎にゆかりのある自治体や団体が一堂に会し、全国初となる「北斎サミット in 富士」を2日間にわたり開催しました。

今後、「葛飾北斎に描かれたまち 富士市」をキーワードにシティプロモーションを推進するに当たり、皆様のご意見を伺います。

問18 あなたは「富嶽三十六景」のうち、3図が富士市の風景を描いたと言われていることを知っていましたか。次の中から知っていた作品を全て選んでください。

回答者数 93 人

#### 【富士市の風景を描いたと言われている3図】



駿州片倉茶園ノ不二

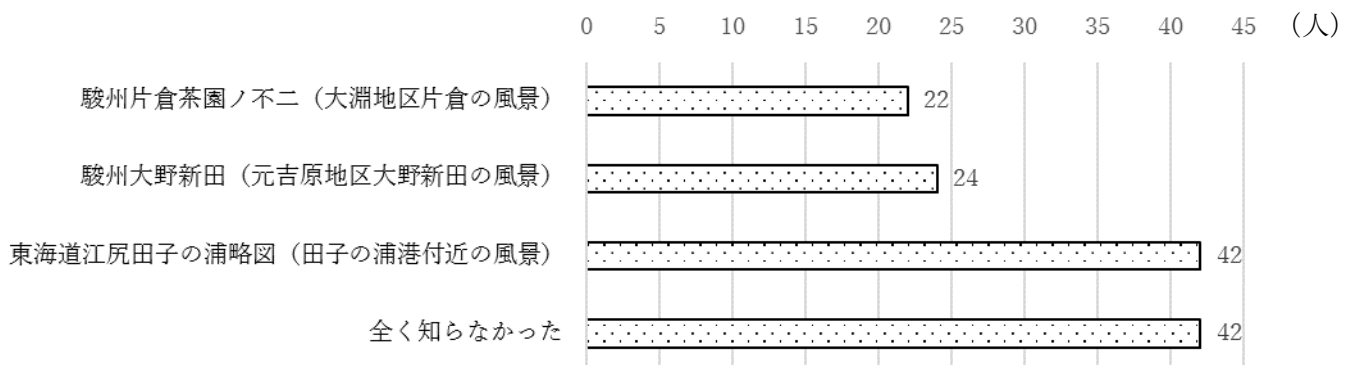


駿州大野新田



東海道江尻田子の浦略図

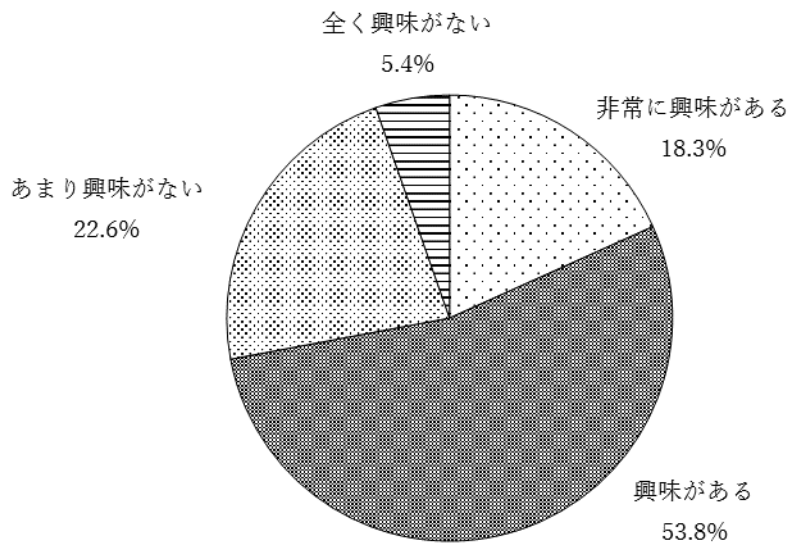
1	駿州片倉茶園ノ不二 (大淵地区片倉の風景)	22 人	23.7%
2	駿州大野新田 (元吉原地区大野新田の風景)	24 人	25.8%
3	東海道江尻田子の浦略図 (田子の浦港付近の風景)	42 人	45.2%
4	全く知らなかった	42 人	45.2%



問 19 あなたは、葛飾北斎が富士市の風景を描いたと言われていることに興味がありますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者数 93 人

1	非常に興味がある	17 人	18.3%
2	興味がある	50 人	53.8%
3	あまり興味がない	21 人	22.6%
4	全く興味がない	5 人	5.4%



- 問 20 「葛飾北斎に描かれたまち 富士市」を市民に広くPRするため、今年度、市内の北斎にゆかりのある地を巡るバスツアーを2回実施します（1回目10月31日実施済・2回目2月実施予定）。また、平成28年度から、市内事業者のトラックに富士山の写真やブランドメッセージなどをプリントし、市内外を運行していただくことで富士市をPRしており、昨年度から北斎の3図をプリントしたトラックを運行していただいています。そのほか、市民に広くPRするために何をすればよいと思いますか。ご意見がありましたら、自由にお書きください。



北斎の3図をプリントしたトラック

- トラックではあまりPRにならない。市のウェブサイトのトップ画面に使ったり、学校で通知してお知らせしたりしてはどうか（30代女性）
- マンホールの絵柄にする。または、富士、吉原各商店街のシャッターに北斎の絵を描いてもらいたい（30代女性）
- 看板に使うことができるのであれば、北斎に描かれた風景の絵を、近くのバス停や看板等にプリントすれば、この場所だと分かるのでいいと思う（30代女性）
- 簡単な三つ折り程度のパンフレットを作成して学校、保育園などに配布。学校の授業に組み込む。展示会の開催（30代女性）
- 広報ふじに掲載する。トラックは見たことがないし、バスツアーも知らなかったため、市民が多く目にするもの書いたほうがいいと思う（30代女性）
- 広報ふじなどで広める。また、北斎が描かれた地域で情報発信プラス楽しく地域活性ができるスタンプラリーなどのイベントがあったらいいとも思う（30代女性）
- 今話題の鬼滅の刃とコラボ。話題の声優さんを使って、CMやラジオ、市内放送で呼びかける。若い人は、話題性のあるものに飛びつきやすい（30代女性）
- 学校の行事に取り入れるなど、子どもたちが知るきっかけをつくればと思う。子どもが北斎を知り、年を重ねていったときに「富士市は北斎だよ」と広めてくれる（30代女性）
- 「ふじいち」を開催して、富士市の特産物などの販売、展示するイベントを開く（30代女性）
- 市ウェブサイトのトップに北斎の図を使用する。広報ふじの表紙や裏表紙に北斎の図を使用する。富士市や静岡県等のイベントで北斎の図を全面に出しアピールする。富士市役所内に北斎の図をいろいろな場所に使用しアピールする。小中学校の授業で北斎と富士市を取り上げる。幼稚園・保育園でも北斎のイベントをする（30代女性）
- 描かれた場所の現在の風景との違いを分かりやすく比べる（30代女性）
- マンホールにプリントする。スタンプラリーで3Dハガキをプレゼント（30代女性）

- 情報番組や公共の場で積極的にPRを行う。現在の風景との対比を行いながら情報発信を行う。葛飾北斎をデザインしたプリントトラックは家族5人とも目にしたことがなく、友人、知人も見たことがないと言っている。運行も再PRが必要なのではないかと思う（30代女性）
- 小学生に同じスポットで写生などをしてもらおう。絵画コンテストを行う。現在のバスツアーはとてもよいと思う（30代女性）
- 市ウェブサイトや広報紙でのPR（30代男性）
- 新聞やテレビでのPRを頻繁に行う（30代男性）
- 市のウェブサイトの背景画にする。富士まつりなどでうちわを作成し、配る（40代女性）
- 絵の題材となった地域の商店街があれば、そこに吊り下げ広告をするといいと思う。富士山と一緒に撮れる北斎の絵の看板の設置（40代女性）
- 学校で取り上げてもらう。この先の富士山目当てで訪れてくれる観光客のためにも、実際描かれたと思われる場所と同じところを環境整備して観光スポット化してしまい、InstagramなどでPRしてもらおう（40代女性）
- 富士駅や新富士駅、市内各所に同じようにメッセージや写真などを掲載、展示する。市内のバスや市からの郵便物にも掲載する（40代女性）
- 北斎の絵を新幹線の車窓や東名高速道路から見えるところに飾るといいのでは（40代女性）
- 市営バス、岳南電車などでPR（40代女性）
- 市の封筒や広報ふじなどへ印刷、回覧板へ印刷（40代女性）
- ごみ収集車に子どもの絵を貼ってあるが、同じように、葛飾北斎の絵を貼ったらどうか。市内を走るのだから（40代女性）
- コロナでイベントもなかなかできず、難しいとは思いますが、グッズや、ポスター等でPRすることしかないと思う。ウェブサイトにも記述、記載する（40代女性）
- トラックでPRしていることは知っているが、あまり効果があると思えない。まず、市内に看板等を設置するなど市民向けに分かりやすくしてほしい（40代男性）
- 今はコロナ禍で難しいと思うが、富士市の公共施設を利用していろいろなイベントをやったらいいと思う。落ち着いたら富士市内の多くのイベントで富士山やつけナポリタンをPRしていけばいい（40代男性）
- 描かれた場所を聖地化するための取組。写生大会など（40代男性）
- 各世帯に絵葉書を配る。駅など人が行き交う場所に大きな壁絵を描く。テレビ番組で紹介する。静岡新聞の1面を飾る。郵便物、公共料金請求などの封筒に描く（40代男性）
- 10月30日は応募したが落選となった。静岡市の葵トラベラー、公共施設巡りバスツアーは、割と当選し、参加させてもらっている。在住市民として、もう少し参加人数を増やしてもらい、富士市のことをみんなに知ってもらうようにすればいいのではないかと。富士市のイベントは静岡市に比べ、落選することが多い（40代男性）
- 3か所にまつわる場所でお祭りを開催。コロナに気をつけることが条件（40代男性）
- ユーチューブ、SNS等の活用。（40代男性）
- あまり知られていないと思う。商店街などに協力してもらい、紙袋、パッケージの印刷で目につくようにしたら、みんなが認知してくれるようになるのではないかと（50代女性）
- そのようなことをやっているのを知っている市民がどれだけいるのか。まずは多くの富士市民が知ることを先なのではないかと（50代女性）

- トラックに富士山の写真をプリントしたものを、まだ見たことがない。新型コロナウイルスで、人の移動自粛のため、ウイルスが収まってからいろいろと考えてもいいのではないかな。今は、感染病棟の増床に力を注いでほしい (50代女性)
- トラックは目を引く。看板もあるといいと思う (50代女性)
- 広報で絵葉書を配布する (50代女性)
- 市ウェブサイトの壁紙を北斎の絵にする。新富士駅、富士駅、市役所に北斎の絵を飾る (50代女性)
- 新富士駅に何かモニュメントを掲げる (50代女性)
- 市内の飲食店でコースターとして採用したらどうか。外国に行くとき、お土産に東海道五十三次のコースターを持っていったら喜ばれた (50代女性)
- 小学生の社会科見学。富士常葉大学の跡地に建設されたスポーツ施設や環境クリーンセンター内、富士駅や新富士駅の壁画に利用 (50代女性)
- 道の駅、富士駅、新富士駅、東名と新東名のインターの出口に、高さのある看板があるといいと思う (50代女性)
- 地域学習の形で小学生を対象にバスツアーを行う。富士市で描かれた作品だけでなく、当時の地域の様子や東海道のにぎわいなども学ぶ機会があればよいと思う (50代女性)
- バスツアーなど、平日の開催などでは参加者が限られる。岳電とのコラボ。伊豆箱根鉄道のラッピング電車はうまく利用していろいろなPRをしていると思う (50代男性)
- 永谷園のお茶漬のカードになっていけば、私は欲しくて集めるかもしれない。森永のキャラメルのカードでも同じ (50代男性)
- Zoom、Teams を使った講座 (50代男性)
- 預貯金が一定額貯まったら絵などをプレゼントする。貯金が貯まった人にプリントトラックのミニカーをプレゼントする。学校の図画工作や美術の授業に取り入れる (50代男性)
- 今は北斎よりもコロナの対応で疲弊した経済の復興について策を取ってほしい (50代男性)
- テレビでのPR、中継。また、ドラマ、バラエティ番組でのロケ地としてPRはどうか (60代女性)
- テレビでのコマーシャルや放送 (60代女性)
- 大変いいことだと思う (60代女性)
- マンホールを北斎の絵図にする。イベント、祭りなど至るところで、北斎Tシャツを着用。テレビ・ラジオ等で取り上げてもらいアピールする (60代女性)
- プリントトラックは見たことがない。路線バス、コミュニティバスにプリントする (60代女性)
- こうした取組もいいが、まずもって清潔できれいなまちづくりが必要。富士市がスモッグに煙っている以上、どんな取組をしてもブランドイメージにはつながらないと思う (60代男性)
- 3枚の作品のポスター販売 (60代男性)
- 富士山世界遺産センターと共同で、企画展等のイベントを開催。富士宮市にあるので、富士市の独自性を強調したい場合は、市役所内やロゼシアターの活用もできると思う。個人的に浮世絵全般に関心を持っている (60代男性)
- 小学生に北斎の版画3点含め、郷土のことを知ってもらうような催しを考えたらどうか (60代男性)
- 小学校社会科の副教材に盛り込んで子どもたちに教える (60代男性)

- もっと富士市はPR活動に重点を置く必要があると感じる。あまりにもPR活動が少ない、費用がかかるのは理解できるが、もう少しメディアを活用できないのか (60代男性)
- まちづくりセンターに3枚の絵を飾る (70代女性)
- プリントトラックを見た。県外を走って富士市のPRに最適。高速バスにもどうか (70代男性)
- JRさわやかウオーキングと連携し、観光化を図る (70代男性)
- これはグッドアイデアですばらしいと思う (70代男性)
- 新富士駅、富士駅、吉原駅にこの看板を掲げたらいいと思う (70代男性)
- 広報ふじで再度PRしてほしい (80代男性)
- 北斎の図をプリントしたトラックは全国を移動し、非常によいPRの手段だと思う。これから台数を増やし富士市を全国に印象づけてほしい (80代男性)



問 21 葛飾北斎を活用した市内外に向けたシティプロモーションについて、アイデアやご意見等、自由にお書きください。

- 葛飾北斎を活用して富士市を世界にアピールするのがよいと思う。日本の浮世絵はフランスのジャポニスムなどヨーロッパで人気がある。海外で葛飾北斎と関係のある美術館と協力して企画展を開催したら面白そうだと感じた（20代男性）
- 私自身が知らず、親も他県で知るきっかけがなかった。海外であなたの生まれたまちはどんなまちか聞かれたときに、ぱっと思いつかなかった。北斎がぱっと出てくるようになればと思った（30代女性）
- 鬼滅の刃と葛飾北斎のコラボグッズを作成する。葛飾北斎のスタンプラリーや、今話題のリアル謎解きゲームを市内全域の観光スポットで行い、話題性をアピールする。マリンプールや富士川楽座で話題の声優さんを使って観光PRなどを行う。高速道路や、バイパス、サービスエリアに大きな葛飾北斎PRの看板を立てる。トラックより看板のほうが多くの人目に入ると思う（30代女性）
- お茶のボトルデザインに起用など（30代女性）
- 北斎アートコンクールの開催。富士山モチーフの作品コンペ。描かれた場所を回りたくなる仕掛け（30代女性）
- 商店街のシャッターに北斎の絵を描いてほしい。市内外の高校生、美大生、専門学校生などに北斎の絵を描いてもらってもいいが、北斎以外にも富士市をイメージした自由な絵を描いてもらい観光などを促すのがいいと思う（30代女性）
- むり絵の募集。写真など他の物で表現する。パネルアートのようなものを少しずつ多くの人に協力してもらい、仕上げは市が行う。市の境界や絵を描いた場所に看板を設置する（30代女性）
- プリントトラックが運行していてもPRするためのものと気がつかなさそうなので、富士市という部分をもっと強調できる方法があるとよいと思う（30代女性）
- 新幹線内のお弁当の紙を絵にする。岳南電車に絵をプリントする（30代女性）
- 企業がほかの企業等へのお土産にするような菓子のデザインに起用すればよい。名古屋のゆかりや東京のとらやなど、会社で話題になったり、缶等の空き容器がそのまま使われていたりする。富士市の企業＝葛飾北斎の菓子のようなイメージをつけられればよいPRになる。販売時にも実際の風景や説明で周知できればお土産をもらった企業が勝手にPRしてくれると思う。コストの問題があるが、配布冊子やクリアファイル等に起用する。イベント等のクイズに起用するかスタンプラリー等に起用する。トラックについては、イラストが北斎のものだと分かったとしても富士市のものであると気が付けるのかが気になる。知っている人にしか伝わらないので、メディアやSNSで北斎のトラック＝富士市であることの周知が必要（30代女性）
- 浮世絵は国内外でファンが多く、日本が誇るべき芸術作品。県外から来たが、もっとPRすべきポイントだと思う。①海外向けに新富士駅の観光案内でパンフレットを作成しPRする。北斎のモデルのまちを見たい人やうれしい人は多いはず。海外向けの日本観光サイトやInstagramでPRする。②今もあるが、国内外向けに、よりおしゃれなデザインで富士市産日本茶と北斎パッケージのコラボをする。若い人が飲みやすいティーバッグで和紅茶などもよい。1ロールでお土産にできるサイズで、トイレトペーパーとのコラボもいいかもしれない。国内PRはお土産が一番。とにかくおしゃれにしてバズればラッキー（30代女性）

- 市民にPRしたいのか、誘客のため市外・県外へPRしたいのか、目的がよく分からない（30代男性）
- 講演などのイベントを企画する。ゆかりの地や今と昔のパネル展をロゼシアターに常設展示する（40代女性）
- 葛飾北斎の展示会。ビルに北斎の絵を夜ライトアップさせる（40代女性）
- 富士市のお茶の缶、ペットボトルにプリントして新富士駅、富士駅で販売する。自販機を設置する（40代女性）
- SNSでビジュアル面からPRする。葛飾北斎グッズを作って販売する。岳南電車とコラボする（40代女性）
- 市内外で販売する物の一部を北斎の絵のパッケージにする。お茶や紙など県外で行われるPRの時に何かしらの展示をする（40代女性）
- 北斎の絵のTシャツを作る。インスタなどで、「あなたも北斎、イマふじ百景写真コンテスト」をする。駅や街に吊り下げ広告をこれでもかたくさん設置する。東海道線などで、関東から来る電車や、静岡へ行く電車などの車内広告を出す（40代女性）
- 絵を印刷したタオルなど北斎の作品を使ったグッズを作る（40代女性）
- JRや新幹線の駅で、北斎の絵や説明文などしてみてもどうか（40代女性）
- グッズ展開。クリアファイル、ポスター、レジ袋に印刷するなど。道の駅、サービスエリアなどでお土産用の紙袋として使用（40代女性）
- 名所・旧跡等、富士市にはよい所がたくさんあるのに、全く生かされていなくてもったいない（40代男性）
- 岳南電車に北斎図をプリントすれば鉄道マニアが集まるのではないかと（40代男性）
- 富士市内に限らず他の地域の描写地と合わせて大々的に行ったほうがより効果が高いと思う（40代男性）
- 市内外に配布するパンフレットがゴミとして捨てられない工夫を考えた会社があった気がする。折り畳むとバックになるような工夫をして、北斎の絵柄が上手に活かせるようにしたらどうか（50代女性）
- 新富士駅、ロゼシアター外観にモニュメントを掲げる（50代女性）
- 動画、看板（50代女性）
- まず、富士駅前の活性化をしないと、観光客が来てもがっかりする。新富士駅周辺も閑散としている（50代女性）
- 北斎の3図を見ると、お茶、米、漁（しらす？）と富士山が描かれている。富士の3つの食材と北斎の絵とのコラボ企画品を新富士駅、富士川楽座などでお土産商品として販売する（50代女性）
- 観光で富士市に来るとしたら、スポットが分散していて移動が大変。景色を楽しめる場所に休憩所がない。動画でいろいろなスポットに行く手順や周辺の様子、アクセス等を説明してくれるものを配信していたら見るかもしれない（50代女性）
- グッズをASTY新富士で売る。富士市の公式ウェブサイトにも北斎版画を利用する。背中に北斎をプリントした富士市のはっぴを作り、プロモーションに利用する。車に貼る安全運転ステッカーを作り、免許更新など、市内の講習時に配布する。東海道を旅する時も現在も安心安全な交通インフラは重要。安全運転ステッカーで内外に交通マナーの意識向上を図る（50代女性）

- お風呂のタイルに活用してはどうか。ホテルニューオータニのお風呂に絵が飾られていた。窓からの景色と対になるとすてきではないか（50代女性）
- SNS等での発信（50代男性）
- コロナが落ち着いてからお願いしたい（50代男性）
- 展覧会やイベントがあれば集客できるのではないか（50代男性）
- プリントトラックのミニカーを発売する。アニメ番組とコラボレーションする（50代男性）
- 岩本山から見た景色の紹介（60代女性）
- もし参加した場合、北斎ゆかりの地を巡るツアー実施はよいと思う（60代女性）
- 市役所2階に北斎の3つの絵を飾る。（60代女性）
- 鑑賞ポイントをめぐるルートを作る。複数の公共駐車場を拠点に、グルメや土産ショップも盛り込んだポイントを巡るコースがあればよいと思う。もちろん理解しやすい案内板があって、公共交通拠点からも巡ることのできる案内も必要（60代男性）
- 真のイメージアップは、市外からきたお客様が観光で何泊か滞在してもらえないようにならないと実現したことにはならないと思う。市外から見て富士市がどのように見えるか、映るかが重要（60代男性）
- 正直な意見として、北斎の描く富士山の版画は、かなり広範囲な富士の見える地域にあり、その中でこの富士市が描かれた3点が、中でも特異的になにか特徴や価値があるならば、今後の富士市の広報活動に役立つと思うが、そうでなければあまり効果的な広報には結びつかないと思う（60代男性）
- 風景場所に看板を置く（60代男性）
- 市におけるプロモーションについては、今回の作品以外にもいろいろなイベント情報を発信してほしい。大変なことだが、まず、シティプロモーション課、総務部で検討し、市民や県民に広めることができたらいいのではないか（60代男性）
- 子ども達にこの3か所の絵を書いてもらい、市内各所で展覧会をする（70代女性）
- ねらいが市民に理解されていない。ねらいの理解を進めたい（70代男性）
- 自家用車にも貼れるステッカーを作ってほしい。動く、走る富士市。県外へ出かけると富士山ナンバーだけでも羨ましがられる（70代男性）
- 北斎に限らず、安藤広重の旧富士川町と思われる絵画なども多く残っているので、検討し、もっと広報すべきだと思う。旧富士川町の岩淵は間の宿のため、蒲原の地名があるのは岩淵ではないかと同級会でも話題になっている（70代男性）
- 田子の浦みなと公園は眺望がよくすばらしい。もっと充実させたり遊覧船を巡行させたりしてはどうか（70代男性）
- 市役所2階、ロゼシアター、交流プラザ、図書館等でPR展示を開催したらと思う。百聞は一見にしかず（80代男性）
- 全国紙で富士市をPRする。富士市民に、北斎を介し市のPRをしていることを今まで以上に知ってもらうよう徹底する（80代男性）